

## 令和4年度国・県予算に対する統一要望について

令和3年5月31日  
市長公室

## 《総括表》

## 1 要望件数総括表

(単位：件)

要望 対象年度	要望件数			内訳					
				国			県		
	合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
令和4年度	31	2	29	14	0	14	17	2	15
令和3年度	29	2	27	14	1	13	15	1	14

## 2 所管部署内訳

## (1) 国関係

国土交通省	12
環境省	1
文部科学省	1
合計	14

## (2) 県関係

ふるさと振興部	1
文化スポーツ部	1
環境生活部	1
商工労働観光部	1

県土整備部	14
合計	18

※県要望No.4は、商工労働観光部及び県土整備部への提出

## 3 各部等の提出内訳

部等名	合計	内訳	
		国	県
交流推進部	1	0	1
商工労働部	1	0	1
建設部	18	8	10
都市整備部	9	5	4
玉山総合事務所	3	1	2
上下水道局	6	3	3
教育委員会	1	1	0
合計	39	18	21

※国要望No.1及び県要望No.5は、建設部、都市整備部及び上下水道局の合同提出

※国要望No.8は、建設部及び都市整備部の合同提出

※国要望No.14は、都市整備部及び教育委員会の合同提出

※県要望No.4は、商工労働部及び都市整備部の合同提出

※県要望No.12は、建設部及び玉山総合事務所の合同提出

令和4年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項（件名）	新・継 続	所管部署	提出部等名	備考
1	1	社会资本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局, 水管理・国土保全局, 住宅局)	建設部 都市整備部 上下水道局	県5
2	4	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県6
3	6	一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県7
4	9	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県8
5	12	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	国土交通省 (道路局)	玉山総合事務所	県9
6	14	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局)	建設部	県10
7	16	市街地再開発事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局, 住宅局)	都市整備部	県11
8	18	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部 都市整備部	
9	21	北上川上流ダム再生事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
10	23	大規模特定河川事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県14
11	25	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局)	都市整備部	県16
12	27	盛岡市公共下水道事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	上下水道局	
13	29	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	環境省 (環境再生・資源循環局)	上下水道局	県17
14	31	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について	継続	文部科学省 (文化庁)	都市整備部 教育委員会	

※○囲みは重点要望事項

令和4年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項(件名)	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	33	鉄道駅のバリアフリー化の推進について	新規	ふるさと振興部	建設部	
2	35	スポーツ推進施策の充実強化について	継続	文化スポーツ部	交流推進部	
3	36	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	継続	環境生活部	上下水道局	
4	40	市の産業施策と県の北上川バレープロジェクトとの連携強化、及び流通・工業系土地利用の促進について	新規	商工労働観光部 国土整備部	商工労働部 都市整備部	
5	41	社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について	継続	国土整備部	建設部 都市整備部 上下水道局	国1
6	44	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	国土整備部	建設部	国2
7	46	一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について	継続	国土整備部	建設部	国3
8	49	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土整備部	建設部	国4
9	52	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	国土整備部	玉山総合事務所	国5
10	54	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	国土整備部	建設部	国6
11	56	市街地再開発事業の推進について	継続	国土整備部	都市整備部	国7
12	58	盛岡市内の県道の整備促進について	継続	国土整備部	建設部 玉山総合事務所	
13	62	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	国土整備部	建設部	
14	65	大規模特定河川事業の推進について	継続	国土整備部	建設部	国10
15	67	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	国土整備部	建設部	
16	69	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土整備部	都市整備部	国11
17	71	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	国土整備部	上下水道局	国13

#### 4 今後の要望日程（予定）について

要望日程	要望項目	要望先
令和3年6月1日（火）	岩手県議会議員に対する 要望説明	盛岡選挙区選出岩手県議会議員
令和3年6月下旬	国に対する統一要望	各省庁、岩手県選出国会議員
令和3年7月上旬～下旬	県に対する統一要望	岩手県盛岡広域振興局長

令和 4 年度

国・県予算に対する統一要望事項（案）

# **国予算に対する統一要望事項**

## **社会资本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について**

盛岡市は、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」をまちづくりの将来像に掲げ、都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化の推進、環境にやさしく快適な交通環境の構築等を目指しております。

目指す将来像の実現に向け、本市においては、時代の変化に合わせた手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備や、市地域公共交通網形成計画等に位置付けた交通拠点について、利便性の高い公共交通関連施設の整備に向け、「JR田沢湖線新駅」及び「岩手飯岡駅東西線自由通路」等の事業に取り組むとともに、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。また、更なる事業推進のために、令和2年度から「道路メンテナンス事業」「無電柱化推進計画事業」等につきましては、社会资本整備総合交付金事業から個別補助金制度事業に移行したところであり、予算配分におきましては特段の御配慮をいただきまして深く感謝申し上げます。

社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる交付金であり、本市においても、住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上等に大きく寄与しているところです。また、整備によるストック効果として、コロナ禍の以前までは本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワーク構築による経済活動における生産性の向上や、観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

また、令和3年4月27日に公表された「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、①災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策、②道路施設の老朽化対策、③渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策、④道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策、⑤道路の法面・盛土の土砂災害防止対策、⑥市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策、⑦ITを活用した道路管理体制の

強化対策が位置付けられ、今後重点的かつ集中的に実施されるものと期待しているところです。

つきましては、社会資本整備総合交付金事業及び個別補助金制度事業により、滞りなく上記事業を推進するため、予算の配分について特段の御配慮をいただきますよう要望いたします。

<盛岡市の社会資本整備総合交付金による主な事業>

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、下水道事業

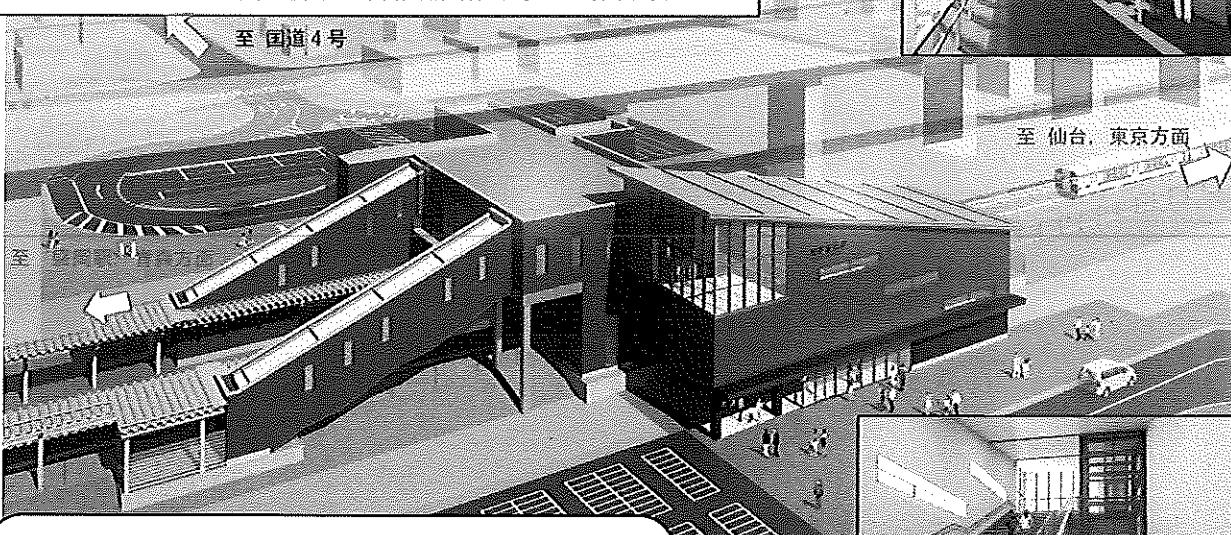
社会资本整備総合交付金事業を活用した  
田沢湖線（仮称）前潟駅整備及び岩手飯岡駅東西線自由通路等整備 要望図

田沢湖線（仮称）前潟駅整備事業



岩手飯岡駅東西線自由通路等整備事業

- ・岩手飯岡駅東西の広場を自由通路にて連絡し、併せて駅舎の橋上化を行う。
- ・駅利用者の利便性、東西地区のコミュニティ及び小・中学生等の安全で円滑な交通を確保する歩行者用道路として整備する。
- ・盛岡南公園野球場（仮称）【令和5年度供用開始予定】への最寄り駅。



- デザインコンセプト『やわらかく包む地域のランドマークの駅』
- ・東西を結ぶ新しいまちのシンボルとなる駅
- ・内装は木材を活かしたあたたかみのある空間とし、木のぬくもりが人々をやさしく包む駅

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

「盛岡西バイパス」は、平成25年に主要地方道上米内湯沢線まで7.8kmが開通しておりますが、本宮字泉屋敷から上厨川字前潟の区間約3.6kmが2車線となっており、国のご尽力により4車線化の整備を行っていただいております。平成25年の開通以降、交通量は増加しており、現在、3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。

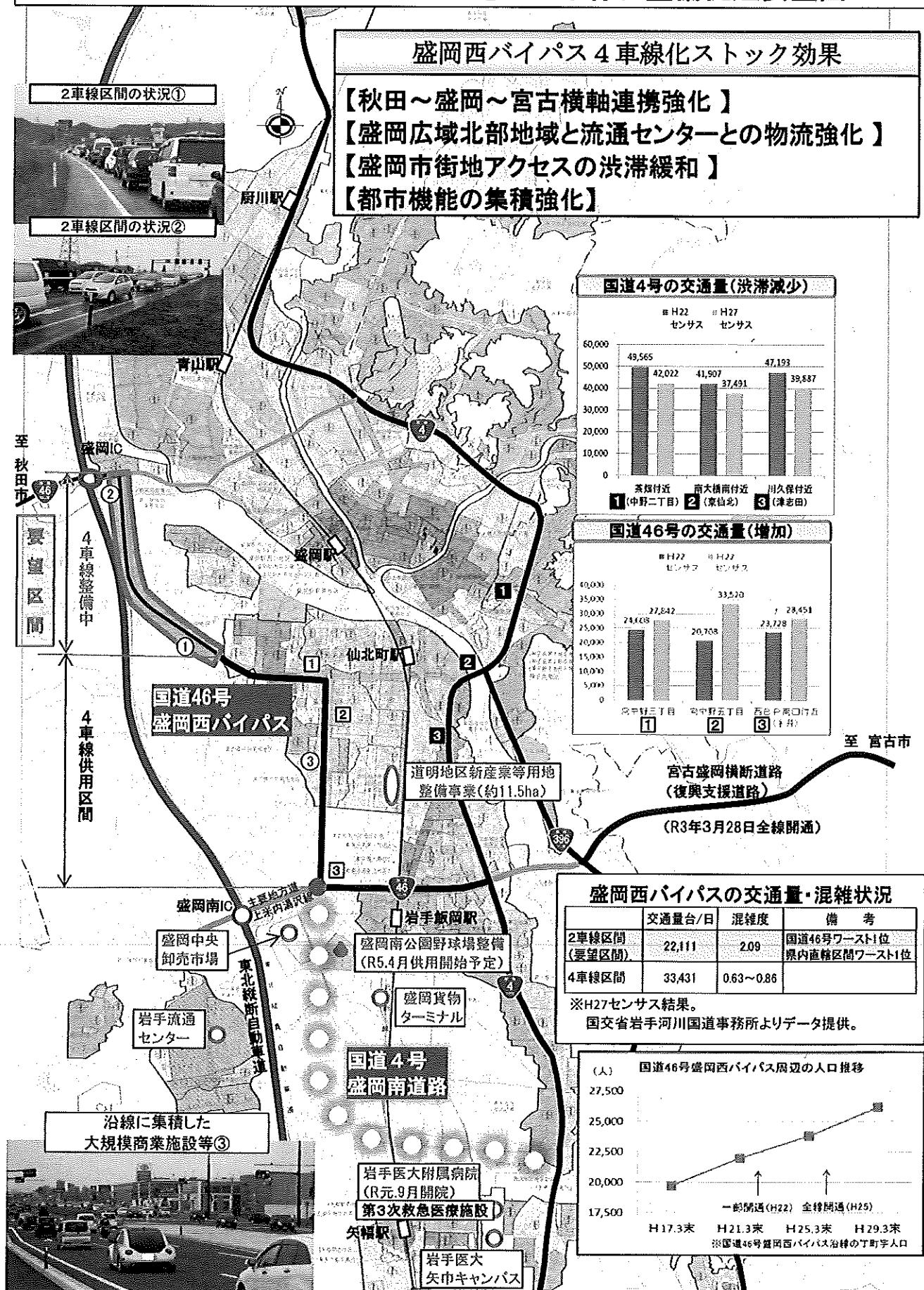
一方、盛岡西バイパス沿線では、盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、復興支援道路である宮古盛岡横断道路「都南川日道路」が令和元年12月に供用開始され、加えて、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備の進捗や、プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場が令和5年度の供用に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

そのような状況の中、盛岡西バイパスは、4車線化について令和7年度に開通する見通しが令和2年2月に公表され、また、令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けていただいたことは、今後更に事業進捗が図られるものと期待しております。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間にについて、4車線化の整備を促進していただきますよう強く要望いたします。

# 一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進要望図



## 一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっております。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、矢巾町や紫波町とは通勤通学などの流動が高く、盛岡市と一体の生活圏が形成されており交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあります。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しましたが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区においては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備について、令和5年度供用開始に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後においても交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

そのような状況の中、「盛岡南道路」におきましては平成30年度から令和元年度までの計画段階評価を経て、令和2年度より都市計画を進めるための調査を実施していると伺っております。事業化に向けた進捗が図られていることに感謝申し上げます。

つきましては、盛岡市を中心とした都市圏の圈域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能

させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について強く要望いたします。

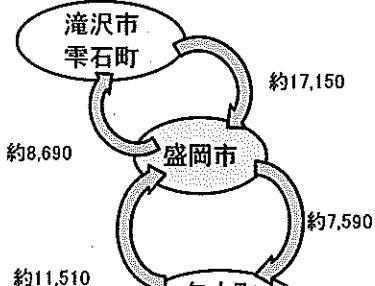
滝沢市

## 「一般国道4号盛岡南道路」の事業化要望図

### 盛岡南道路のストック効果

- 【国道4号の混雑緩和が図られる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【命を守る医療体系の構築】
- 【持続可能な経済・産業圏域の形成】

盛岡広域圏 通勤通学流動



通勤通学で  
約45,000人/日の流動

【写真①】国道4号の渋滞状況

・盛岡南IC入口交差点南側



至  
零石町

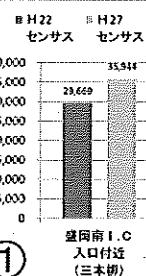
要  
望  
箇  
所  
國道4号盛岡南道路

国道46号  
盛岡西バイパス

道明地区新産業等用地  
整備事業(約11.5ha)

宮古盛岡横断道路  
(復興支援道路)  
(R3年3月28日全線開通)

国道4号の交通量



【写真②】  
物流拠点を結ぶ円滑なネットワークの確保

・盛岡貨物ターミナル駅から県南の金ヶ崎町にある工場へ、組み立て部品などをコンテナ貨物トラックで輸送するために、規格の高い道路が必要。

▼岩手日報 令和元年12月22日(日)

岩手医大病院、矢巾移転3ヶ月  
最新機器充実さらに

「命のとりで」増す安心

向上不可欠  
交通環境の

矢巾町

矢巾スマ-IC

H30.3月24日開通

岩手医大附属病院  
(R元.9月24日開院)

岩手医大  
矢巾キャンパス

至 紫波町

# 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るために道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るために幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び零石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、平成25年度に制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

## 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
"	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	"
"	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全、無電柱化

区分	路線名	要望地区	工種
継続	南大通二丁目南大橋線外	鉈屋町地区	交通安全, 無電柱化
//	ひがしなかのかど 東中野門線	ひがしなかの 東中野地区	交通安全
//	いわていいおかえきとうざいせんじゅうつうろ 岩手飯岡駅東西線自由通路	ながい 永井地区	//

## 道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図



## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、平成7年に事業用地の一部を先行取得しておりましたが、平成27年4月の渋民バイパスの全線開通を契機に、本市初の「道の駅」整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、国土交通省東北地方整備局及び岩手河川国道事務所の御助言をいただきながら、平成31年3月に基本計画を策定、令和2年度に基本設計を作成し、導入機能・整備規模等について具体化しているところであります。

本市の道の駅は、姫神山や岩手山の優美な眺望をいかしながら、石川啄木記念館などとの連携により、啄木が愛した原風景を感じていただける施設を目指しております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両に対する休憩や道路情報の提供機能に加え、災害時における一時避難場所や物資等の支援拠点などの防災機能を具備することで、道路利用者等の交通安全の確保や利便性の向上、地域の防災拠点の役割を担おうとするものであります。更には、地域振興の拠点として、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、地域の魅力をいかした食の提供などを通じて地域に活気を呼び込むほか、市民が集い、様々な人々が活躍でき、将来を担う人材を育成する場をつくろうとするものであります。

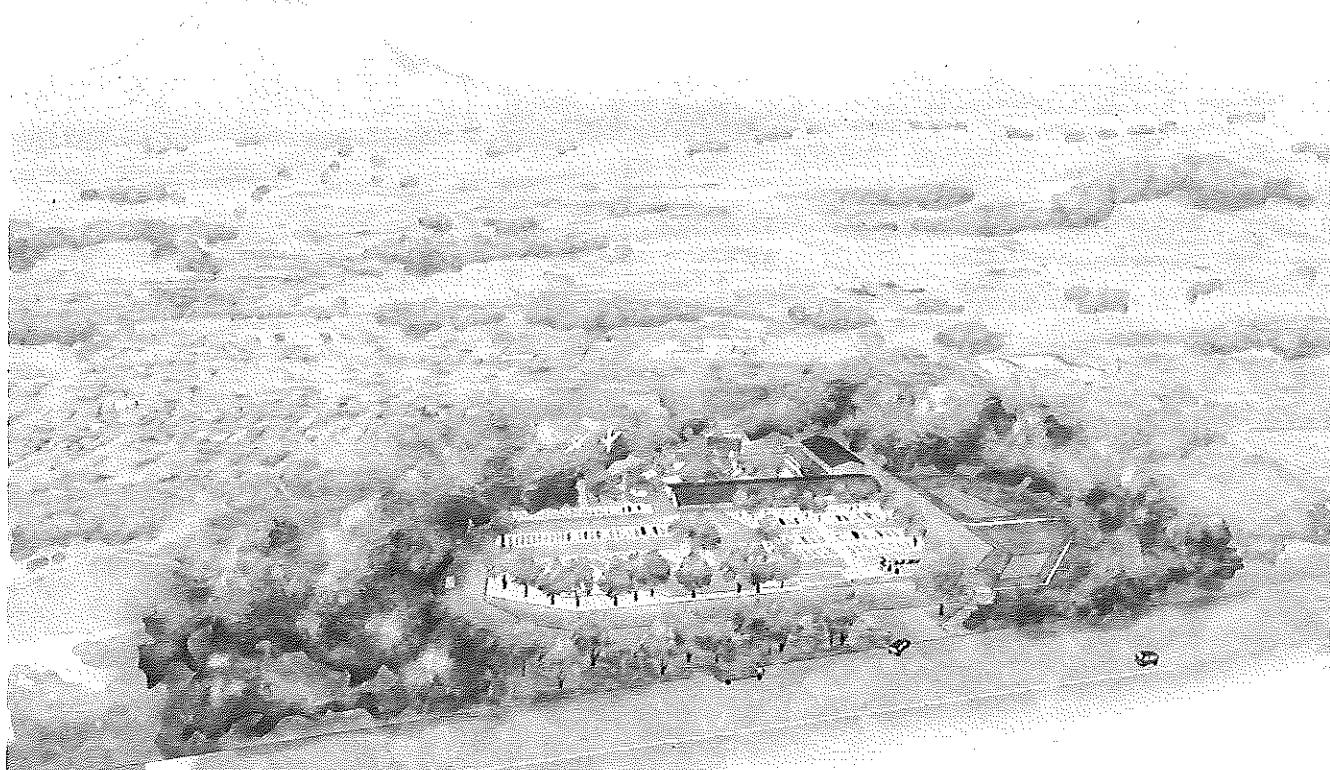
今後、令和3年度に実施設計を作成し、令和4年度には整備工事に着手する予定しております。

つきましては、本市初の「道の駅」の着実な整備推進に当たり、魅力ある道の駅とするための御助言や御支援、事業費の確保等について、特段の御理解と御配慮をいただきますよう要望いたします。

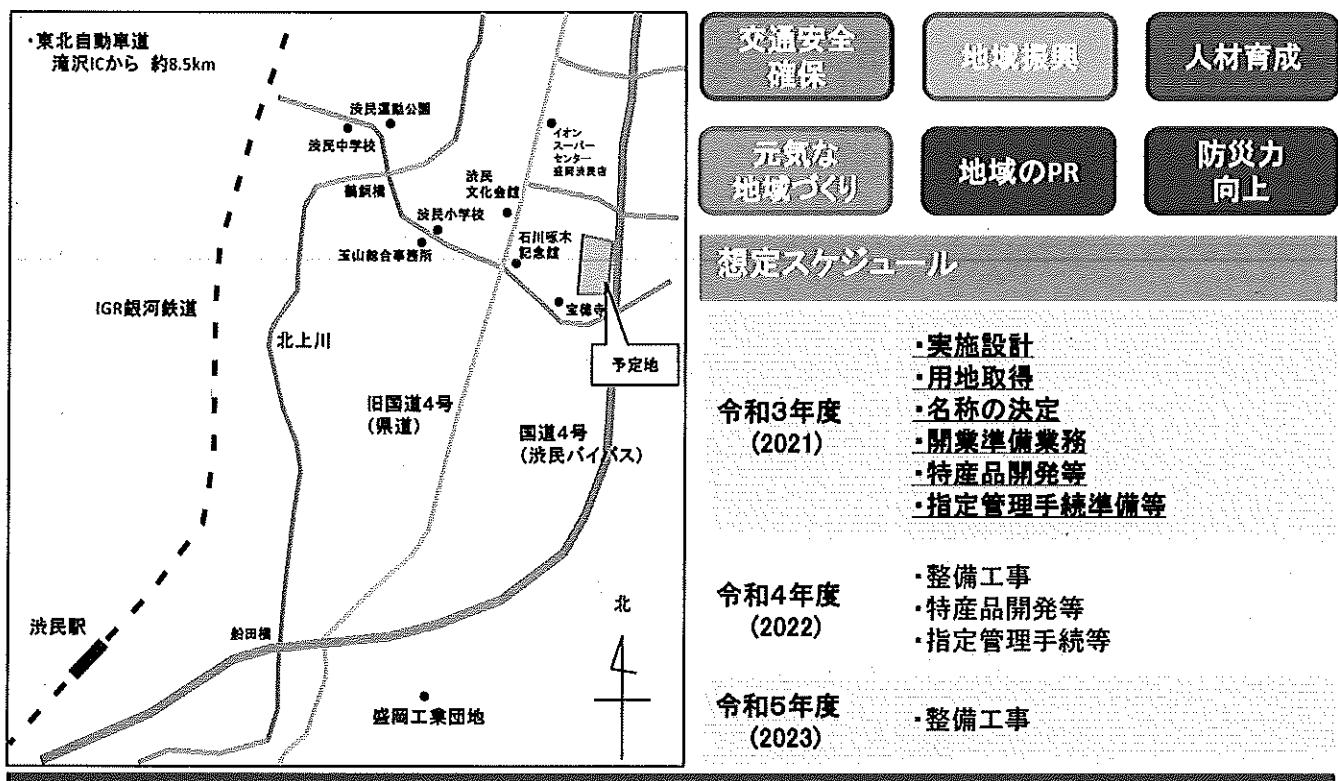
# 盛岡市道の駅設置事業概要

イメージパース

岩手山



## コンセプト 『道の駅は、私たちの未来を創る希望のステージ』 ～石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～



## 都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共交通機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

また、盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、既存市街地や盛岡駅西口地区と新市街地である盛南地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定供用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても新市街地での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	あたごちょうみつわり 愛宕町三ツ割線	やまぎし 山岸四丁目外	道路改築
岩手県	継続	もりおかえきもとみや 盛岡駅本宮線	もり 杜の大橋	橋梁4車線化

## 都市局所管街路事業に係る要望箇所図

### 道路整備事業の効果

#### 現状

- ◆交通量の多い通学路等において、歩行者が危険にさらされている。  
車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆交通量の多い街路において車線が狭く、ネットワーク機能の面で支障をきたしている。

#### 道路整備による効果

- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の交通環境の改善と歩行者・自転車の回遊性の向上

歩道等の整備による安全性の向上と交通の円滑化

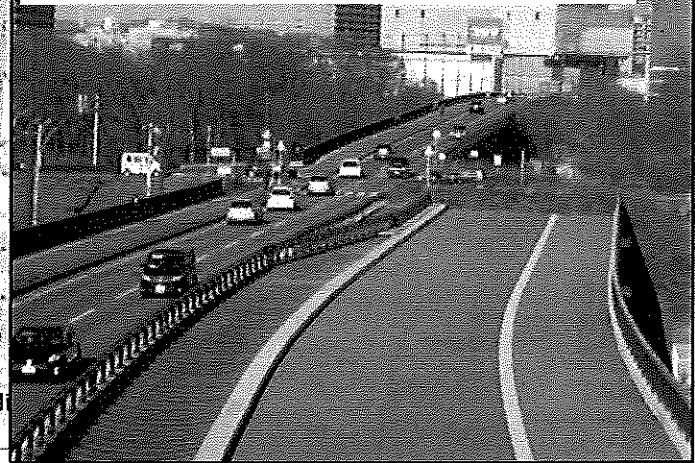


番号	路線名等
①	愛宕町三ツ割線
②	盛岡駅本宮線(杜の大橋)

#### ① 歩道整備による安全性向上と交通円滑化



#### ② 車線数の確保による交通環境の改善



## 市街地再開発事業の推進について

盛岡市では、総合計画において「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、中心市街地における良好な市街地環境の創出や土地利用の適正化を図るために再開発事業を推進し、人がぎわうまちづくりを進めています。

また、令和元年度に「盛岡市立地適正化計画」を策定し、都市機能の集積を図り、コンパクト・プラス・ネットワークの形成に取り組んでいます。

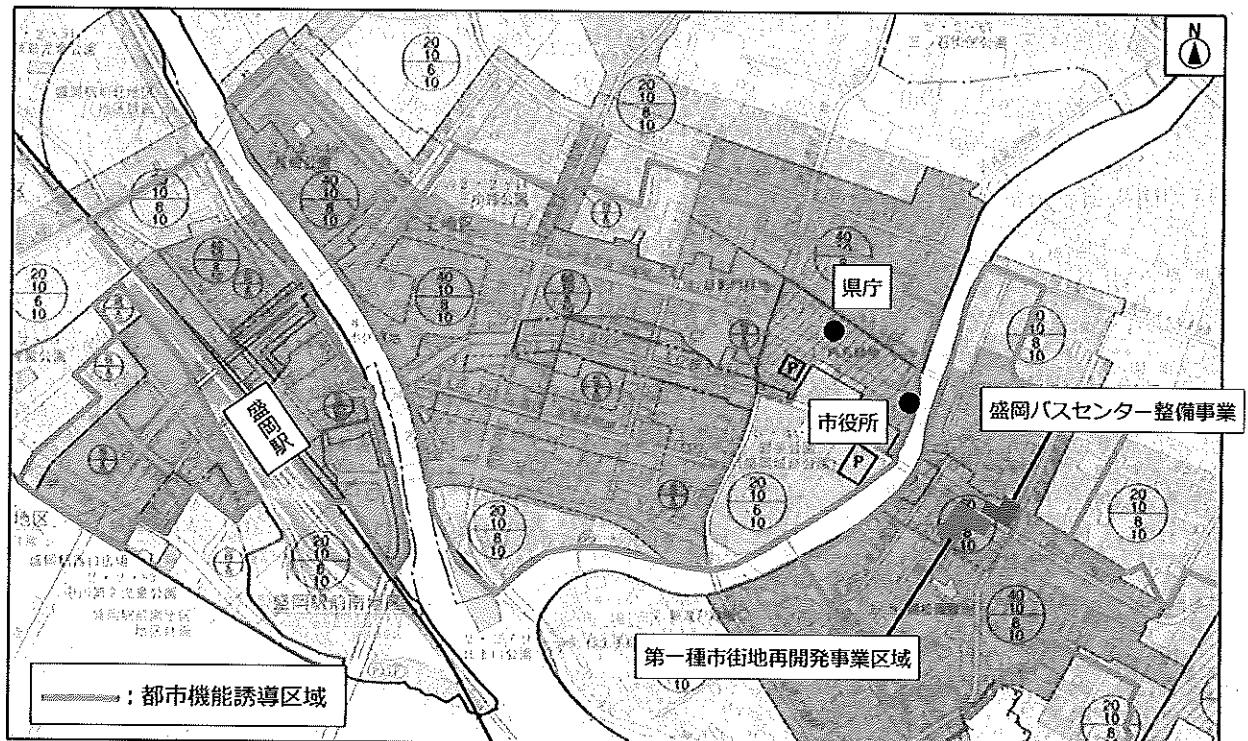
しかしながら、本市の中心市街地に立地する大型商業施設が閉店したことから、地区のにぎわいの低下はもとより中心市街地全体の活性化への影響が懸念される状況となっているところです。

こうした中、地区のにぎわい創出による中心市街地の活性化、都市の安全性及び防災機能の向上を図るために、なかのはしどおりいっちょうめ中ノ橋通一丁目地区市街地再開発準備組合による第一種市街地再開発事業が計画され、国・県からの交付金支援のもと令和3年度から着手されたところであり、予算確保に御配慮いただきましたことに感謝申し上げます。

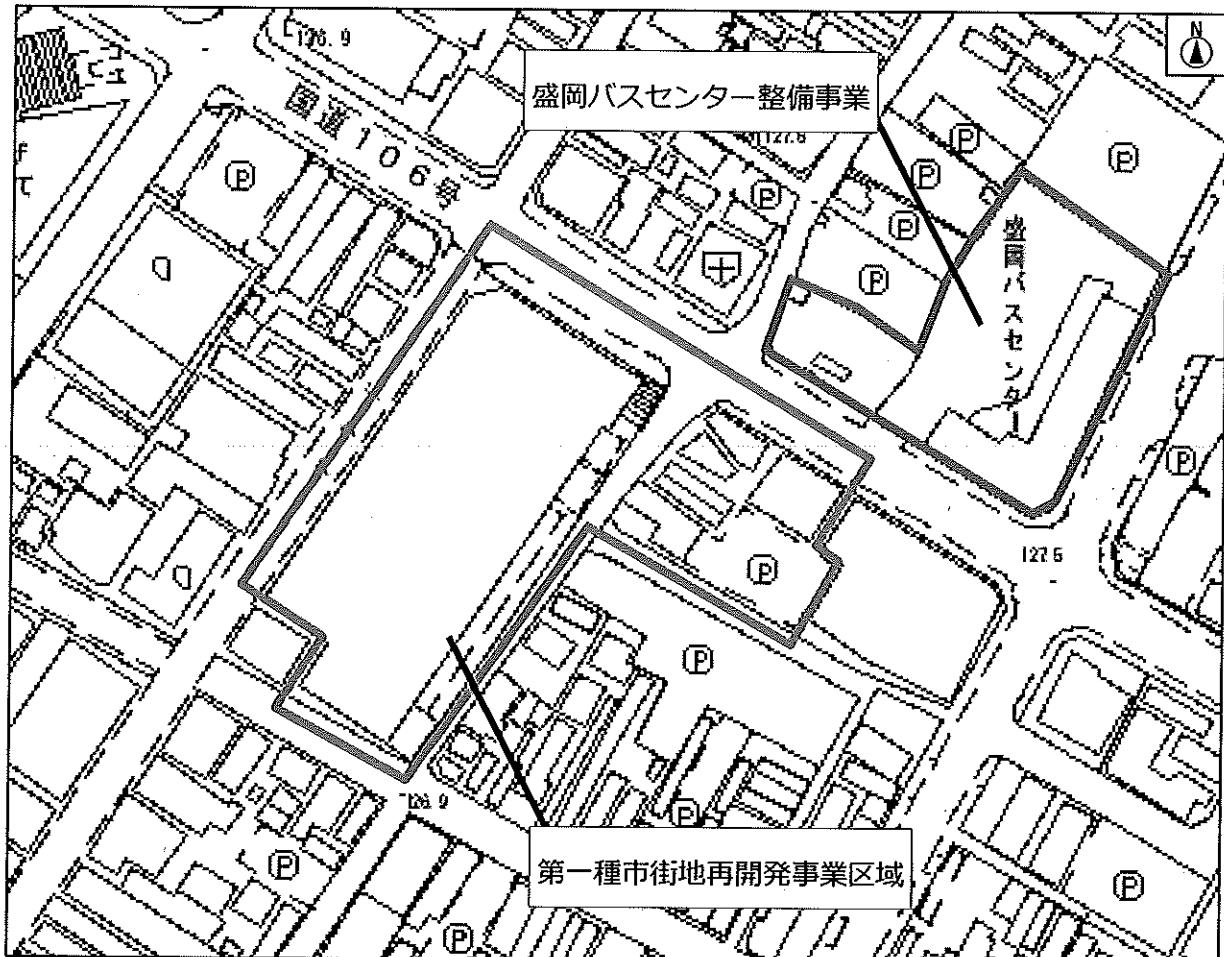
本市としても、当該市街地再開発事業を本市の都市政策上重要な事業と位置付けており、近隣地において公民連携で進めている盛岡バスセンター整備事業との連携を図りつつ、事業を推進しているところです。

つきましては、当該市街地再開発事業を着実に推進するため、国・県におかれても、事業への御理解と御支援をいただきたく、引き続き予算の確保に特段の御配慮を賜りますよう要望いたします。

## 市街地再開発事業の推進について 位置図



## 市街地再開癠事業の推進について 区域図



## 盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び零石川）は、着実に整備が進められるとともに、平成19年9月の洪水や平成25年8月及び9月の台風等の際にも迅速な対応により市街地へのはん濫を防いでいただき深く感謝しております。また、北上川及び中津川のかわまちづくり事業により、観光資源へのアクセス整備や案内板の設置等による利便性の向上が図られ、市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出など、積極的に取り組んでいただき重ねて感謝いたします。

しかしながら、北上川、中津川及び零石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所の浸水が懸念されるほか、近年、全国各地で記録的な豪雨による災害が発生するなど、流域市民に大きな不安を与えています。

そのため、令和3年3月に公表した北上川水系流域治水プロジェクトにおきましては、盛岡市も流域のあらゆる関係者と一体となり、流出抑制対策や被害軽減対策を進めて参ります。国や県におかれましても防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策をより一層推進され、堤防等の基本的な治水対策施設の整備を計画的に推進されますとともに、地方公共団体が実施する流域対策におきましては、交付金事業等による新規支援制度や制度拡充など柔軟な対応が図られますよう強く要望いたします。

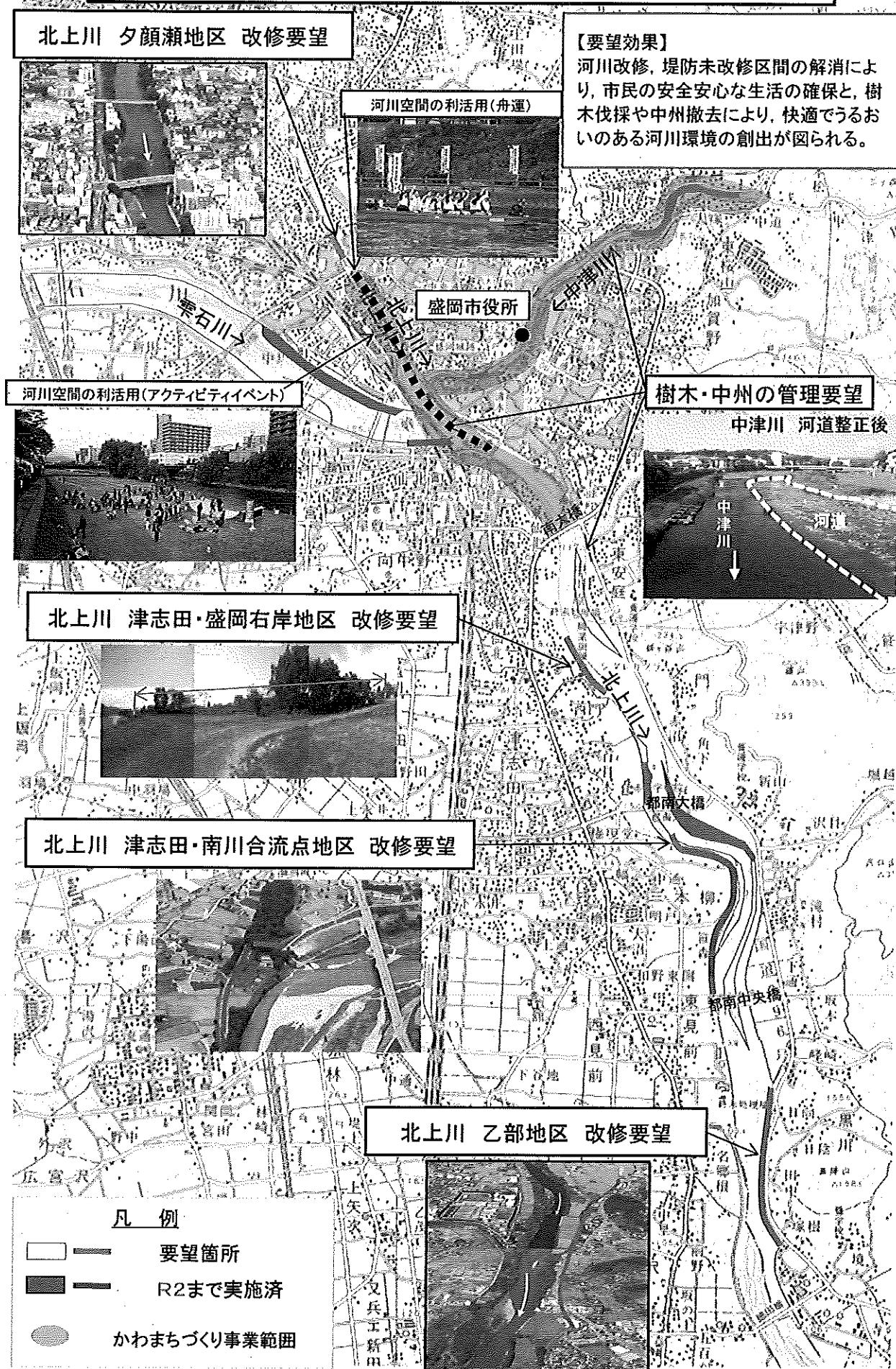
また、令和4年度治水事業費の大幅な増額や所要額を確保し、北上川上流河川改修事業の更なる促進が図られるよう、特段のご配慮をお願いいたします。

特に直轄管理河川において、局所的に流下能力が不足している「夕顔瀬地区」、過去の洪水により浸水被害が生じた、「津志田・盛岡右岸地区」、「津志田・南川合流点地区」と「乙部地区」の未改修箇所の早期着手について要望いたします。

更に、北上川及び中津川は、ギネス記録を持つ北上川ゴムボート川下りや新たな賑わい創出として取り組んでいる舟運などによる市民のレクリエーションの場として更なる利活用の促進に向け、かわまちづくり事業の支援をお願いすると

とともに、引き続き、魅力的な水辺空間の創出と河川における河道内樹木群の伐採や中州の撤去など、自然との共生及び環境との調和に配慮した適切な管理について要望いたします。

# 直轄管理河川北上川水系治水事業要望箇所図



## 北上川上流ダム再生事業の促進について

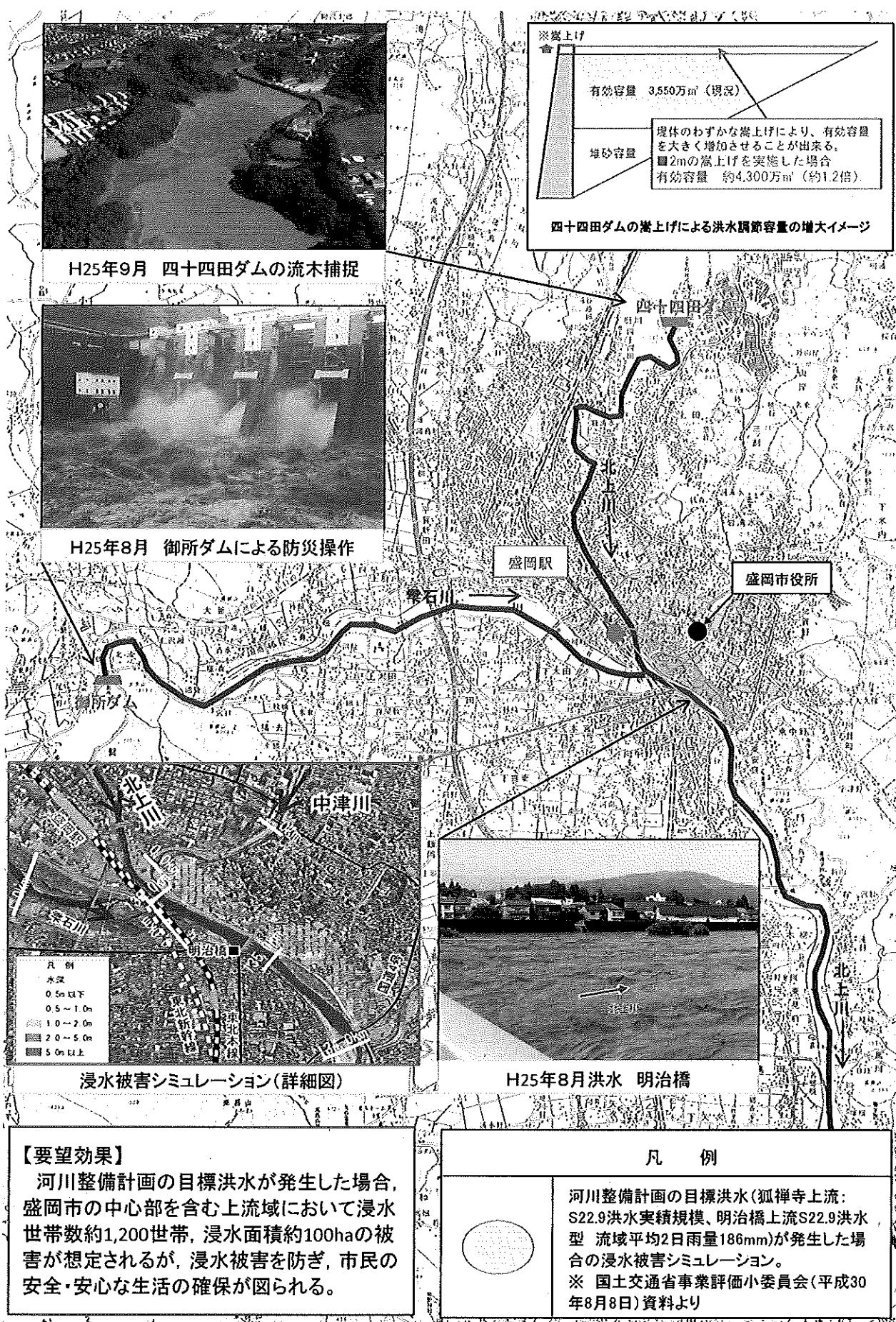
盛岡市を守る治水の要である 四十四田ダムと 御所ダムにつきましては、平成25年8月の大河及び同年9月の台風による洪水でダムの計画高水流量を上回る既往最大流量を記録し、御所ダムでは、洪水調節容量のほぼ満杯まで貯留するぎりぎりの状況でしたが、四十四田ダムと御所ダムの連携操作により、盛岡市街地への氾濫を防いでいただき、深く感謝いたしております。

近年、気候変動に伴う降雨の影響で全国各地で水災害が頻発、激甚化しており、岩手県でも平成28年8月の台風10号により岩泉町に甚大な被害をもたらし、市民の防災に対する関心が高まるとともに大きな不安を与えています。また、四十四田ダムと御所ダムの能力を上回る洪水が発生した場合、本市中心部を含む市街地に甚大な浸水被害を受けることが想定され、その影響は、計り知れないものとなりますことから、両ダムのさらなる機能強化が望まれているところです。

国土交通省では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため「気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言」を踏まえ、流域全体を俯瞰し、国、市町村、企業、地域住民など、あらゆる関係者が協力し治水対策に取り組む「流域治水」が始動し、その重要な一翼を担う既設ダムの機能向上を図る「ダム再生」の取り組みのより一層の推進につきまして、市民等からの期待がさらに高まっております。

つきましては、盛岡市の安全で安心な地域づくりに向け、「ダム再生ビジョン」に基づく、「四十四田ダムのかさ上げ」など治水機能の強化を行う「北上川上流ダム再生事業」の着実な実施と促進を要望いたします。

# 北上川上流ダム再生事業



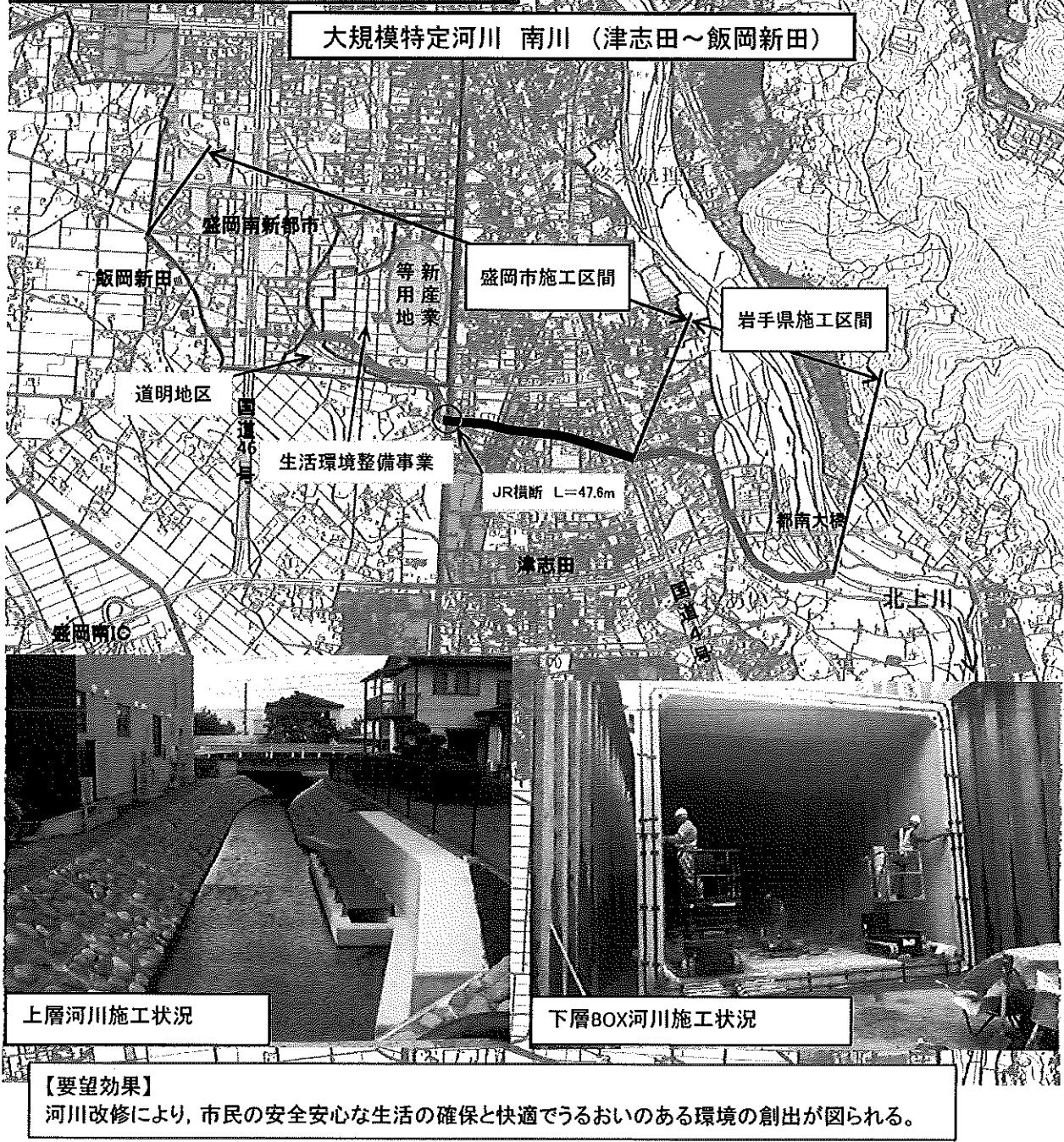
## 大規模特定河川事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系 南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明<sup>どうみょう</sup>地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、新産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、大規模特定河川事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 大規模特定河川事業



## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市では、おおた 太田地区、どうみょう 道明地区及びとなんちゅうおうだいさん 都南中央第三地区において土地区画整理事業を実施するとともに、事業区域縮小により土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域では、道路整備を中心に事業を実施することで、地区の恵まれた環境を生かしつつ機能的で魅力があり、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めています。

本市は、令和元年度に立地適正化計画を策定し、住民の生活利便性の維持や向上、行政サービスの効率化による行政コストの削減等、事業効果の早期発現を目指しており、都南中央第三地区では令和2年度から都市構造再編集中支援事業の導入により、令和3年度におきましても事業進捗が図られているところであります。

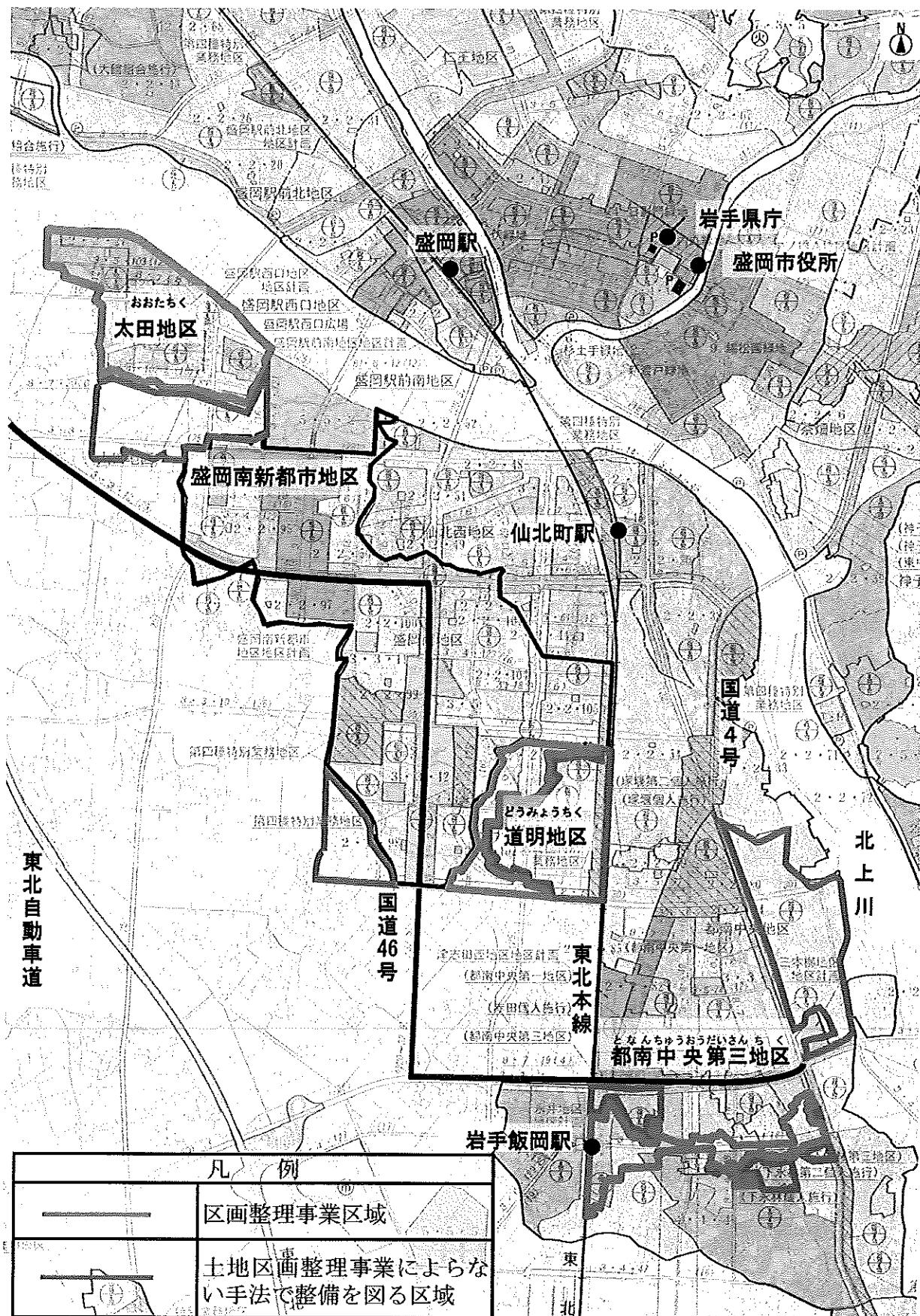
しかしながら、地元の早期事業完了要望に応え、また、土地区画整理事業と合わせた地区全体の早期効果発現を行うためにも、財源を確保して一層の事業推進を図る必要がありますことから、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、予算の優先的な確保に御配慮いただきたく要望いたします。

(R 3年度末)

地区名	<small>おおた</small> 太田	<small>どうみょう</small> 道明	<small>となんちゅうおうだいさん</small> 都南 中央 第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H 5～R 6 (清算 R 11)	H 15～R 5 (清算 R 10)	H 12～R 6 (清算 R 11)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,288	区画整理 6,335 区画整理外 2,894 計 9,229	区画整理 8,910 区画整理外 595 計 9,505
今後の 見通し	～R 6まで (4年)	～R 5まで (3年)	～R 4まで (2年)
残事業費 (百万円)	区画整理 2,190	区画整理 579 区画整理外 1,368 計 1,947	区画整理 387 区画整理外 28 計 415

※ 上表の「区画整理外」は「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」。  
都南中央第三地区都市構造再編集中事業の基幹事業は土地区画整理事業、道路及び公園整備事業。(都南中央第三地区はR4の宅地概成を目標としている。)

## 盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



## 盛岡市公共下水道事業の推進について

本市では、人口密集地域については、生活環境整備事業として位置づけ、生活環境の改善のため汚水処理の未普及対策事業を推進しております。平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成28年度には「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を策定し、公共下水道による整備区域の事業を推進しているところですが、公共下水道整備には現計画において時間をする見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和3年度から下水道計画区域の見直しに着手することとしております。

浸水対策事業については、災害の発生防止や甚大な災害の未然防止の観点から幹線整備及び面整備を進めておりますが、温暖化に伴う世界的な気候変動などの影響により、これまで浸水被害がなかった箇所にも浸水被害が発生するなど、早急な整備が求められております。

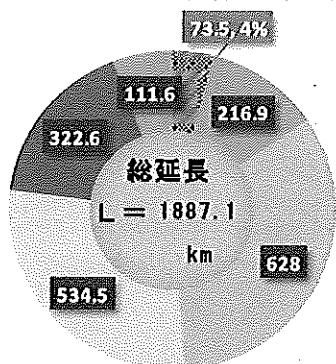
さらに、耐用年数を超過している下水道施設の更新の課題も抱えており、耐震化も含めた改築更新の必要性が高まっている状況にあります。

これらの事業を推進するためには、多額の費用が必要とされ、今後下水道使用料の適切な見直し、下水道事業の区域見直しを含めた効率的な事業運営を行うこととしておりますが、使用料の値上げによる収入だけでは、下水道の老朽化等に必要な費用を賄うには限度があり、道路陥没や下水処理の機能停止等により住民生活に重大な影響が及ぶおそれがあります。

このように公共下水道事業は継続して推進させる必要があり、地方財政は一段と厳しい状況でありますことから、下水道の公共的役割の観点から下水道事業への継続的な事業費支援について要望いたします。

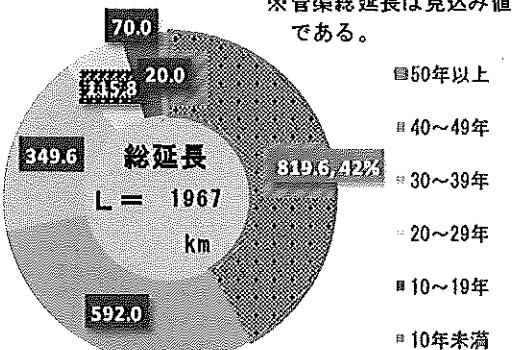
## 盛岡市の下水道事業について

R1年度末経過年数別延長 (km)



R21年度末経過年数別延長 (km)

※管渠総延長は見込み値である。



市街地での浸水対策が至急の課題となっております。ハード整備とソフト対策を連動した事業の推進を図る必要があります。

50年経過管路が、年々増え続けています。ストックマネジメント事業の推進が緊急課題となっています。

平成25年8月 大雨状況



中心市街地の合流地区



鴨助堰排水区

北上川右岸第三排水区

このほか、盛岡市では、未普及対策事業の推進や地震対策事業の推進に努めてまいります。

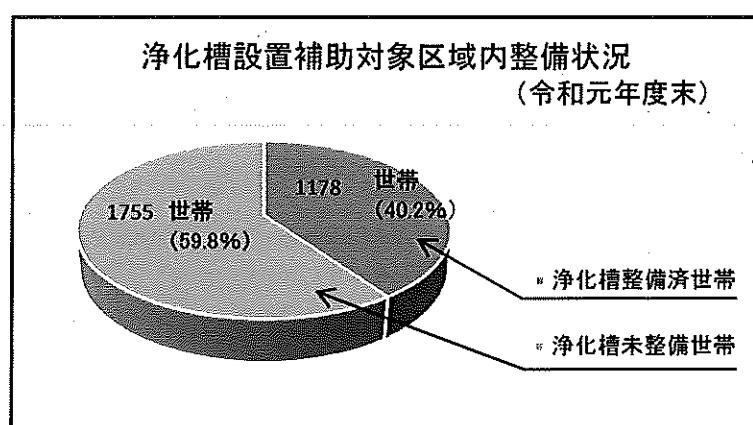
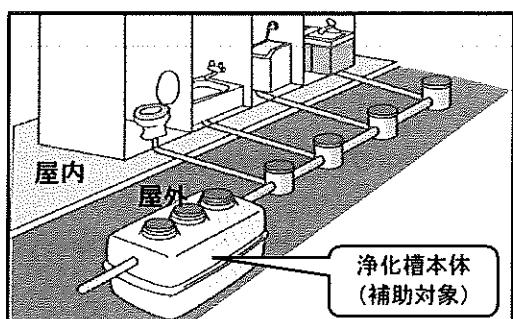
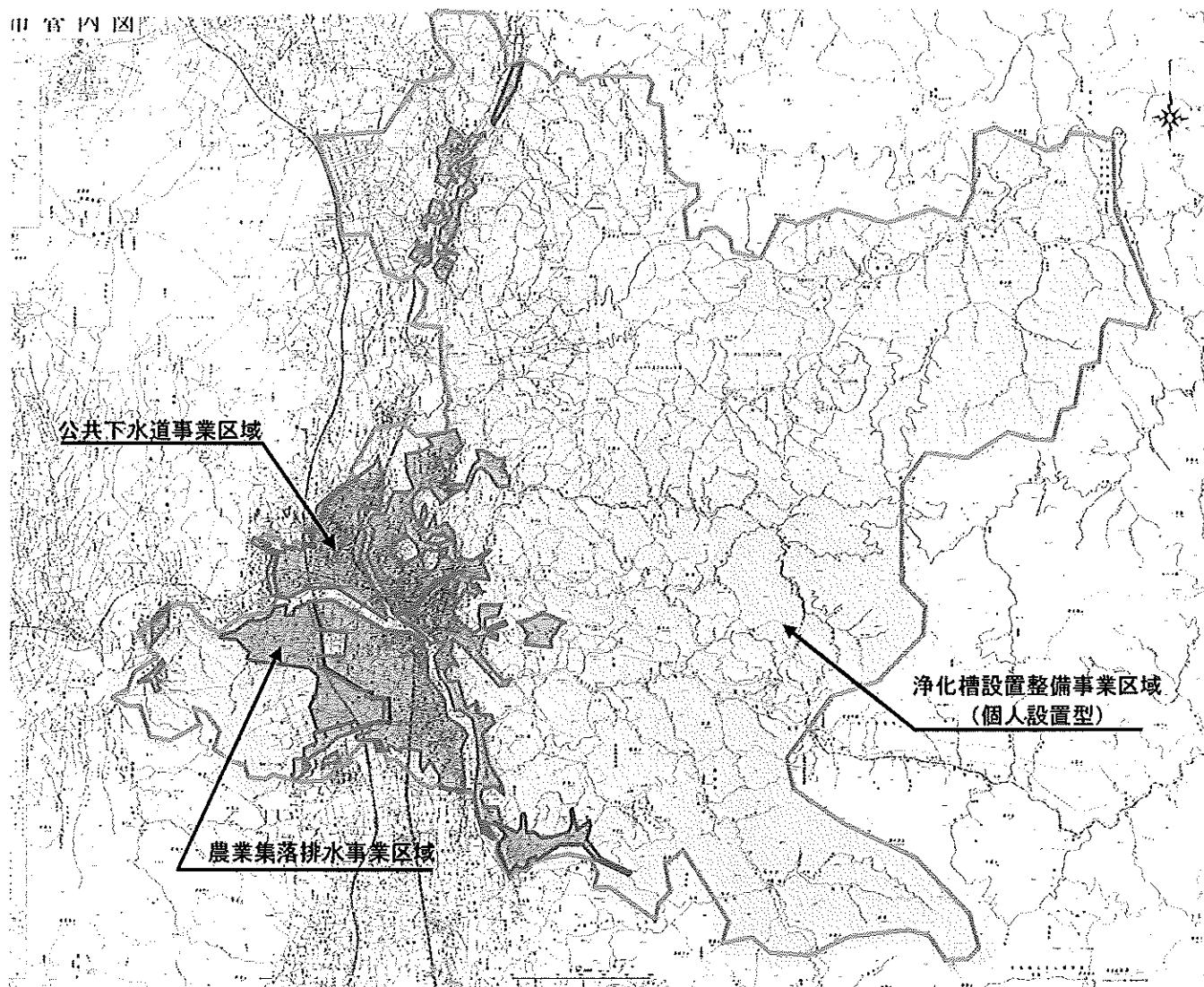
## **循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について**

本市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、令和7年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。しかし、公共下水道整備には現計画において時間を有する見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和3年度から下水道計画区域の見直しに着手することとしております。同時に、浄化槽による整備区域の見直しを行うこととしており、見直し後の区域における浄化槽の整備促進を重点的に図る必要があります。また、現状の浄化槽による整備区域については、人口集積が低い地域ですが、市域面積の約9割を占めており、令和元年度末時点で当該整備区域内人口のうち約40%の整備率に留まっておりましたことから、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、引き続き浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算を確保していただきたく要望いたします。

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域



※ 世帯当たり人員は3.06人/世帯(H27国勢調査ベース)として算出。

## 国指定史跡 盛岡城跡保存整備事業の推進について

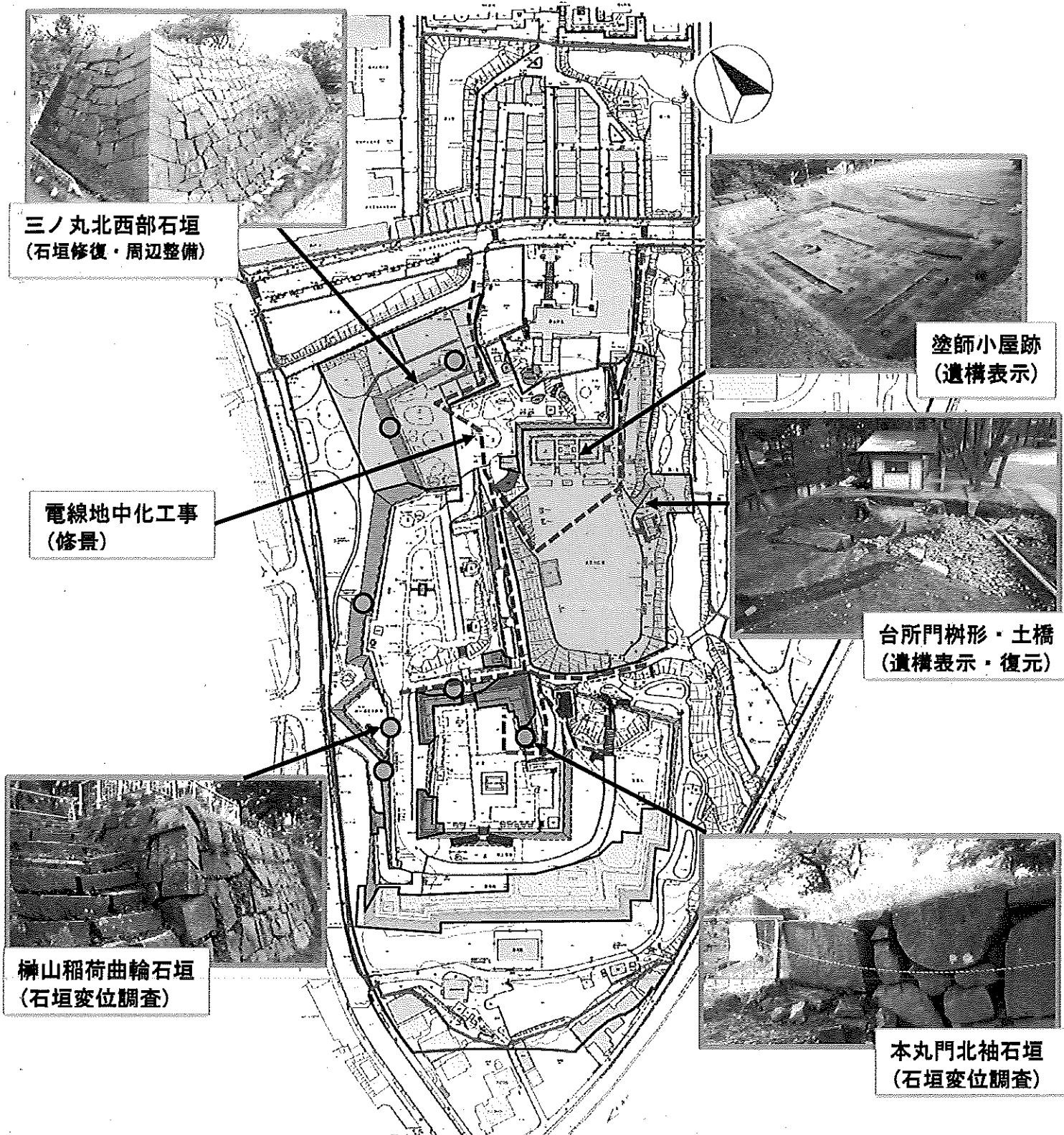
史跡盛岡城跡は、市名の由来であり、盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの方に親しまれており、その保存活用に鋭意努力しているところであります。また、市の中心部に位置し、中心市街地の魅力を高め、活性化を図る重要な都市公園でもあり、史跡整備と公園整備の両輪による「まちづくり」の推進が必要となっております。しかし、築城から400年余りが経過し、史跡の本質的価値の主要素である石垣に著しい傷みの箇所があり、抜本的な解体修復が必要とされ、昭和59年度から国庫補助事業として修復工事を進めてまいりました。

また、平成23年度には「史跡盛岡城跡保存管理計画」、平成24年度に「史跡盛岡城跡整備基本計画」、さらに平成28年度に「史跡盛岡城跡植栽管理基本計画」を策定しながら、全国に先駆けて年間の石垣変位量の測定を実施し、地震時における石垣挙動についての知見を蓄積するなどの研究を行ってまいりました。

現在、第Ⅰ期整備計画の主要事業として、三ノ丸北西部石垣の修復工事を進めているところであります。石垣修復事業は、文化財の保護と来園者の安全確保の観点から、早急に事業を推進する必要がありますが、複数年度にわたり、規模の大きな事業が継続するため、所要額の安定的な確保が課題となっております。

つきましては、石垣修復工事の着実な推進のための事業費確保を強く要望いたします。

# 史跡盛岡城跡保存整備事業 要望箇所



**第1期石垣修復範囲 (S59~H2)**

**第2期石垣修復範囲 (H3~H24)**

**第1期整備計画範囲 (H25~R4)**

史跡指定範囲 :

都市公園範囲 :

令和3年度

石垣変位調査観測地点

(S=1 : 2,500)

## **県予算に対する統一要望事項**

## 鉄道駅のバリアフリー化の推進について

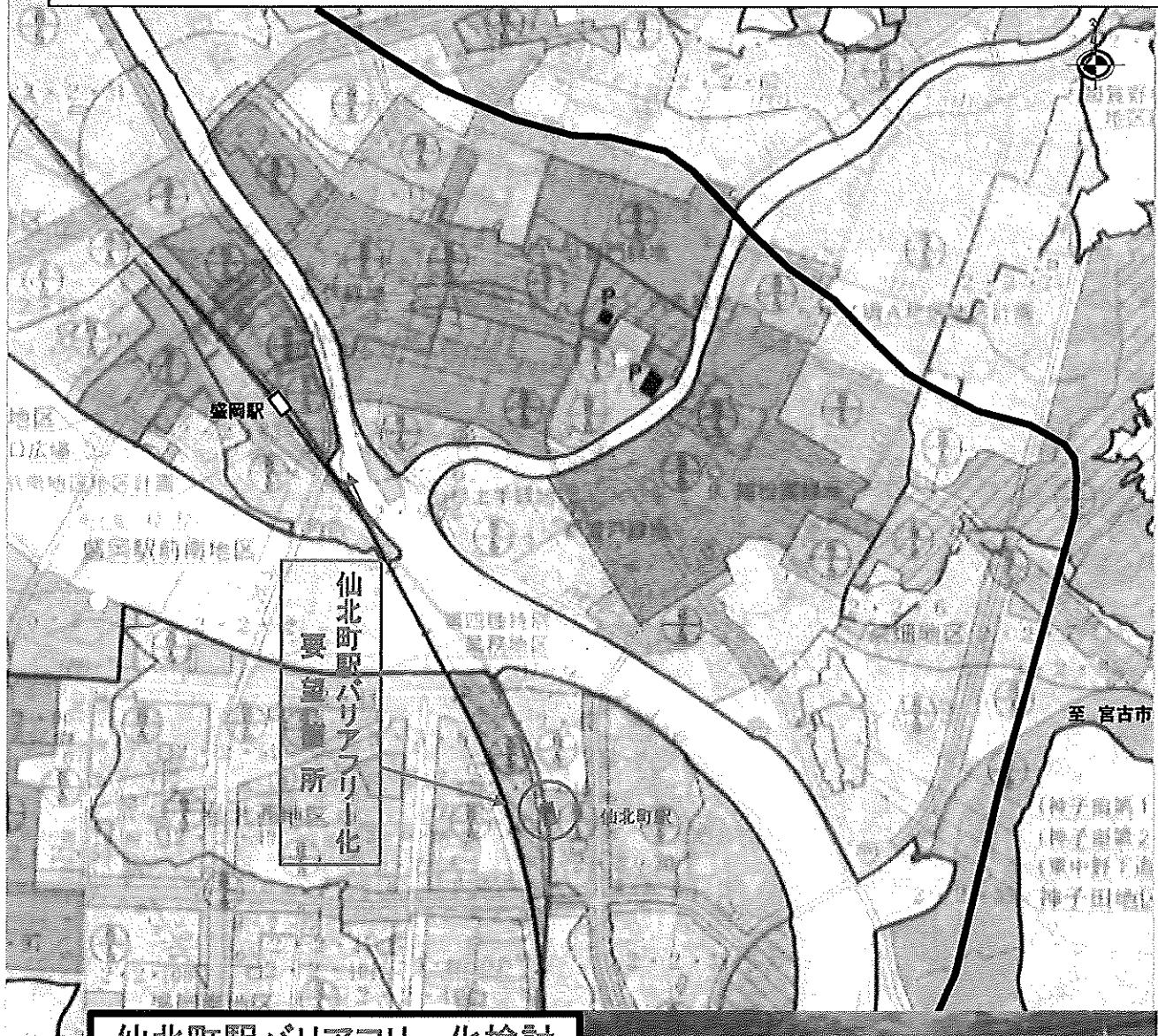
盛岡市は、令和元年度に策定した地域公共交通網形成計画において、交通結節点である鉄道駅について、相応しい機能や設備を検討・推進することとしております。

特にも、JR東北本線仙北町駅については、平成元年度に東西自由通路、平成27年度に東西自由通路エレベーターを供用開始しておりますが、駅構内のバリアフリー化は未実施であり、駅利用者が約3,500人/日（2019年）であることから、バリアフリー法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」によるバリアフリー化目標に該当する早期整備の必要な駅となっております。また、地元住民からもバリアフリー化について強く要望されるなど、機能拡充が求められています。

東日本旅客鉄道株式会社ではバリアフリー化を図るため、国の支援も頂きながら、東西自由通路と駅構内の既存跨線橋を接続し、エレベーターを整備する計画を検討しており、市としても地元の意見等を伺いながら、バリアフリー化に向けた協力をを行うこととしております。令和3年3月には、国・市・鉄道事業者が連携し事業を進めるため、「仙北町駅バリアフリー化設備等整備協議会」が設置され、協議検討を進めているところです。

つきましては、JR東北本線仙北町駅のバリアフリー化の推進を図るため、県補助金による支援について特段の御配慮をいただきたく要望いたします。

## 鉄道駅のバリアフリー化整備促進要望図



### 仙北町駅バリアフリー化検討



## **スポーツ推進施策の充実強化について**

盛岡市では、盛岡市スポーツ推進計画や盛岡市スポーツ施設適正配置方針に基づきスポーツを行う環境整備を進めているところであります。県におかれましては、岩手県スポーツ推進計画に基づき、スポーツ医・科学を活用したトップアスリートの育成や健康づくり支援、IoT・AI等の最先端技術の活用等によるスポーツ振興を図る「いわてスポーツ推進プラットフォーム」の設立に向け、令和元年度、産学官のメンバーによる研究会を設け、ソフト面を中心に具体的な進め方を検討していただいておりますことに感謝を申し上げるとともに、今後の施策展開に大いに期待するものであります。

つきましては、スポーツを活用した健康づくりや地域活性化に資する施策を効果的に展開し、次世代を担う子供たちが夢や希望を実現できる環境づくりを進めるためには、ソフト面の対応に加え、運動機能の実践的検証が可能な施設整備も必要と考えますことから、東日本大震災により整備計画が凍結されているスポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設の整備を進めていただきますよう、要望いたします。

## **水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について**

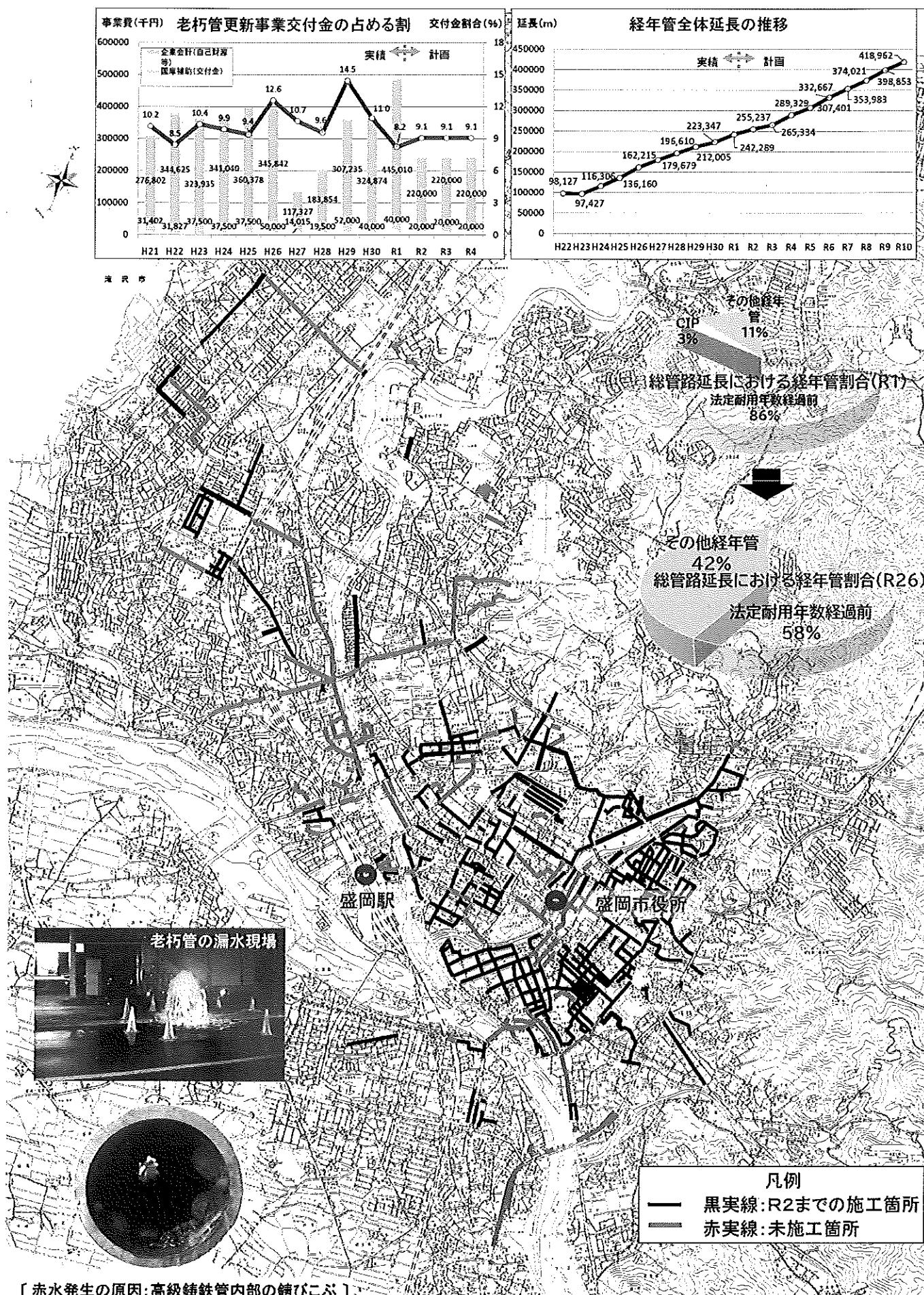
水道は市民生活や産業活動を支える極めて重要な基盤施設であり、自然災害や水源汚染等の非常時においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給し続けることが強く求められています。

また、水道創設期から高度経済成長期に整備された水道施設は老朽化の進行が著しく、計画的な施設更新が必要となっています。こうしたことから、本市においては、老朽施設の更新、基幹病院や要援護者収容施設までの配水管の耐震化を、重要給水施設配水管整備事業として重点的に進めております。その財源については、「水道施設耐震化等推進事業費補助金(交付金)」を活用することにより、施設整備を推進しているところですが、必要な財源確保は大きな課題となっています。

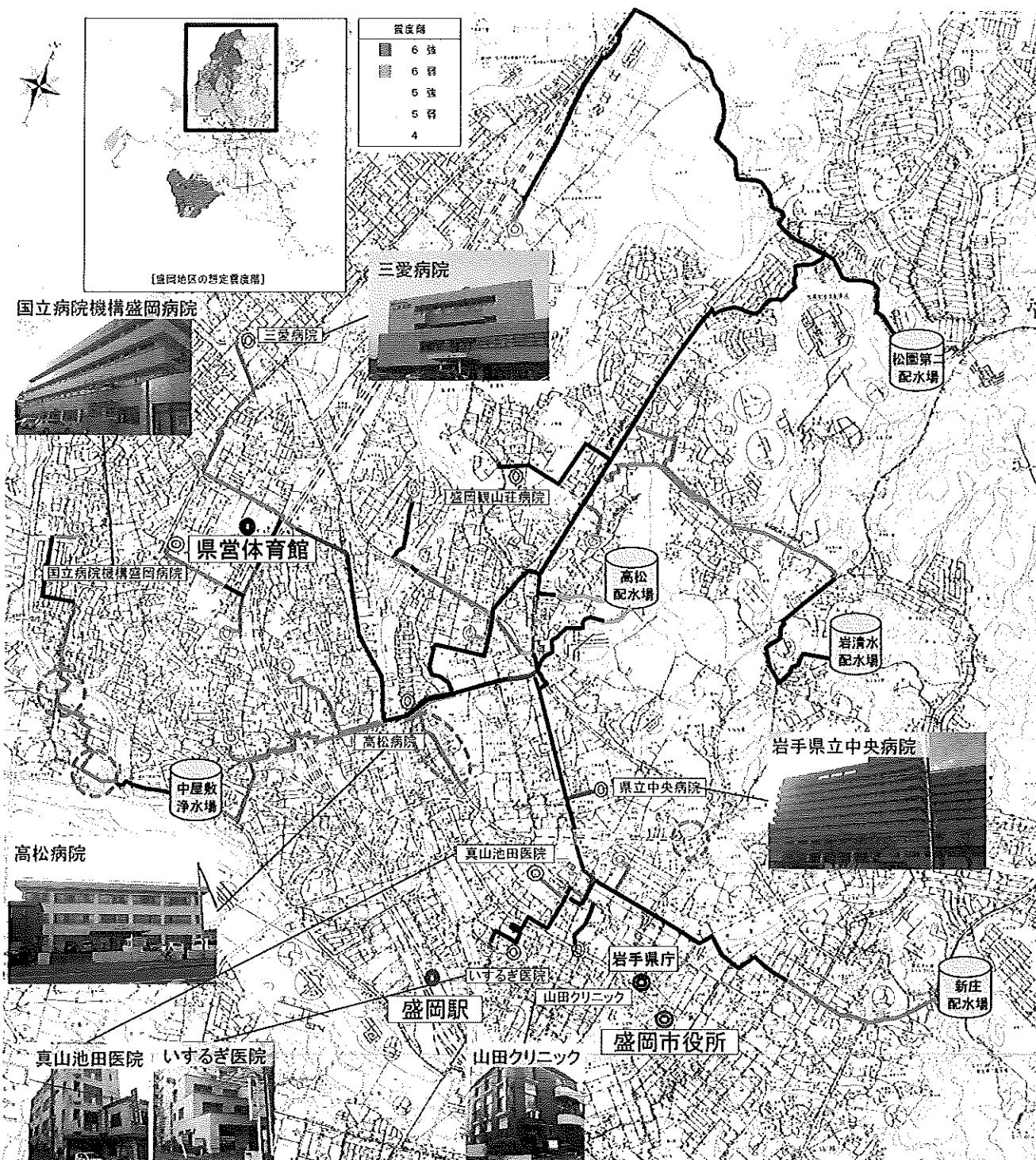
一方で、「水道施設耐震化等推進事業費補助金(交付金)」による老朽管更新事業においては、配水管更新に伴う給水管の繋ぎ替えや消火栓設置、硬質ポリ塩化ビニル管の更新は補助対象外となっている状況です。

つきましては、その補助制度の目的を存分に發揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保と補助対象工種の拡大について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額通りの補助を要望いたします。

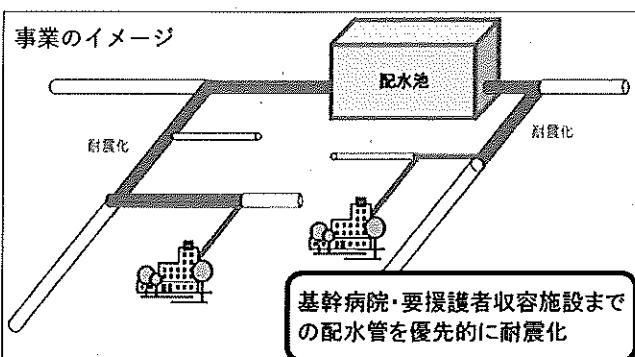
## 老朽管更新事業計画図



## 重要給水施設配水管整備事業計画図



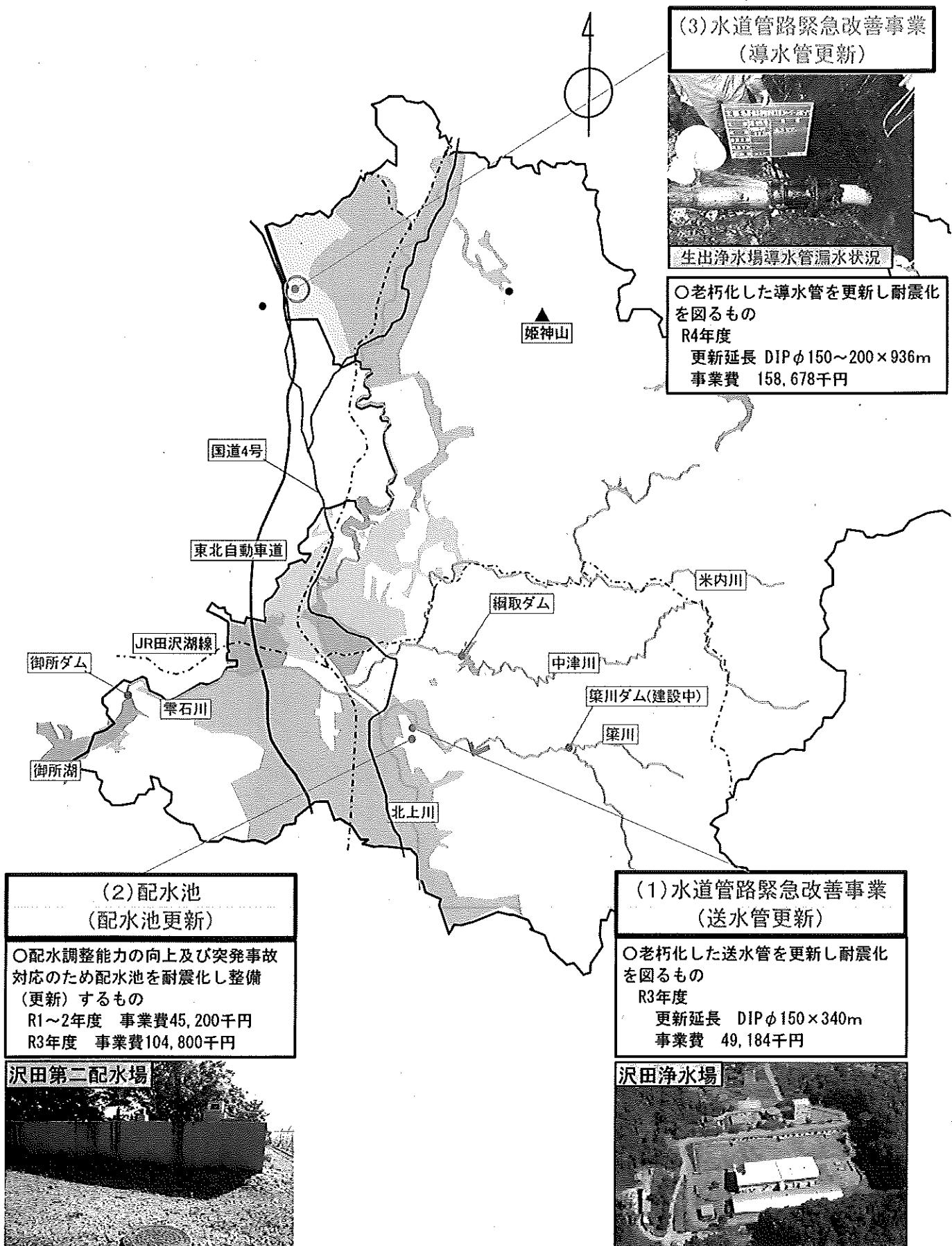
事業のイメージ



### 凡 例

- 黒実線：R1までの施工箇所
- 赤実線：未施工箇所
- 青実線：R2施工箇所
- 緑実践：R3施工箇所
- 赤囲い：R4施工予定箇所
- 基幹病院
- ◎ 要援護者収容施設

## 水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について



## **市の産業施策と県の北上川バレープロジェクトとの連携強化、及び流通・工業系土地利用の促進について**

盛岡市を中心とする県央地区は、都市機能や大学等試験研究機関、産業支援機関の立地などの優位性を生かし産学官連携をベースとした先端技術の開発、ベンチャー企業の育成支援、IT関連企業の立地促進など付加価値の高い産業の育成に重点的に取り組んでおります。

また、岩手県は、県央地区と県南地区にまたがる北上川流域において、自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積が進み、新たな雇用の創出が見込まれることを生かし、北上川バレープロジェクトとして、両地区の広域的な連携の更なる促進や、第4次産業革命技術のあらゆる産業・生活分野への導入などを通じて、働きやすく、暮らしやすい、新しい時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指しております。

このような状況の中、県との連携を強化し、各般の産業振興施策に取り組むことが、市が進めている工業振興ビジョンの実現はもとより、市全体の産業振興が推進され、ひいては、北上川流域全体の産業の高度化・高付加価値化と、県全体の発展に資するものであるとの考え方から、令和2年6月29日付で「岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定」を締結したところであり、協定に掲げる「道明地区新産業等用地への企業誘致」など、連携する9項目について、更なる取組の推進・強化を要望します。

また、連携項目「物流拠点の整備と機能強化」につきましては、トラック輸送の中短距離拠点化が進み、市への物流拠点の設置需要が増大しており、岩手流通センターには空き区画が残っていないことから、新たな用地の確保が喫緊の課題となっております。物流は、農商工業を始め、全ての産業の下支えとなりますことから、盛岡広域都市圏はもとより、県全体の産業振興を図るためにも、広域交通網の拠点として優位性の高い、東北縦貫自動車道インターチェンジ及び貨物ターミナルの周辺において流通・工業系の土地利用を促進する必要がありますことから、盛岡広域都市圏における流通・工業系土地利用フレームの確保と盛岡市への配分について要望いたします。

## **社会资本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について**

盛岡市は、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」をまちづくりの将来像に掲げ、都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化の推進、環境にやさしく快適な交通環境の構築等を目指しております。

目指す将来像の実現に向け、本市においては、時代の変化に合わせた手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備や、市地域公共交通網形成計画等に位置付けた交通拠点について、利便性の高い公共交通関連施設の整備に向け、「JR田沢湖線新駅」及び「岩手飯岡駅東西線自由通路」等の事業に取り組むとともに、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。また、更なる事業推進のために、令和2年度から「道路メンテナンス事業」「無電柱化推進計画事業」等につきましては、社会资本整備総合交付金事業から個別補助金制度事業に移行したところであり、予算配分におきましては特段の御配慮をいただきまして深く感謝申し上げます。

社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる交付金であり、本市においても、住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上等に大きく寄与しているところです。また、整備によるストック効果として、コロナ禍の以前までは本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワーク構築による経済活動における生産性の向上や、観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

また、令和3年4月27日に公表された「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、①災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策、②道路施設の老朽化対策、③渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策、④道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策、⑤道路の法面・盛土の土砂災害防止対策、⑥市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策、⑦ITを活用した道路管理体制の

強化対策が位置付けられ、今後重点的かつ集中的に実施されるものと期待しているところです。

つきましては、社会資本整備総合交付金事業及び個別補助金制度事業により、  
滞りなく上記事業を推進するため、予算の配分について特段の御配慮をいただきますよう要望いたします。

<盛岡市の社会資本整備総合交付金による主な事業>

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、  
下水道事業

社会资本整備総合交付金事業を活用した  
田沢湖線（仮称）前潟駅整備及び岩手飯岡駅東西線自由通路等整備 要望図

田沢湖線（仮称）前潟駅整備事業

至 大曾

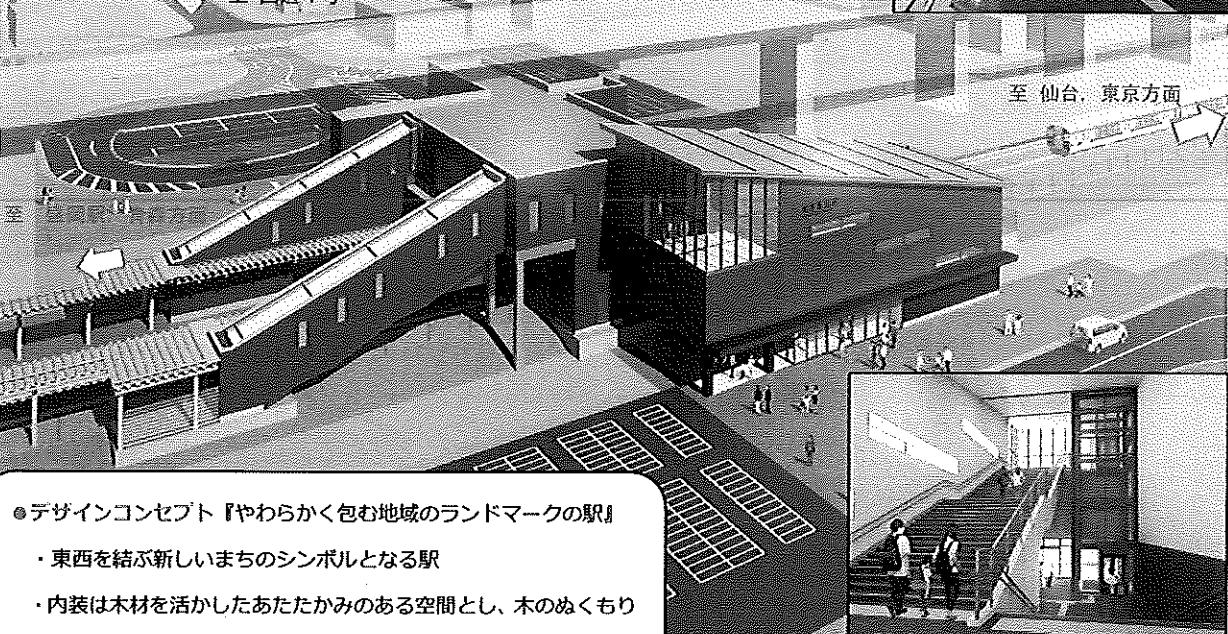


岩手飯岡駅東西線自由通路等整備事業

- 岩手飯岡駅東西の広場を自由通路にて連絡し、併せて駅舎の橋上化を行う。
- 駅利用者の利便性、東西地区のコミュニティ及び小・中学生等の安全で円滑な交通を確保する歩行者用道路として整備する。
- 盛岡南公園野球場（仮称）【令和5年度供用開始予定】への最寄り駅。

至 国道4号

至 仙台、東京方面



## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の 4車線化の整備促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

「盛岡西バイパス」は、平成25年に主要地方道上米内湯沢線まで7.8kmが開通しておりますが、本宮字泉屋敷から上厨川字前潟の区間約3.6kmが2車線となっており、国のご尽力により4車線化の整備を行っていただいております。平成25年の開通以降、交通量は増加しており、現在、3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。

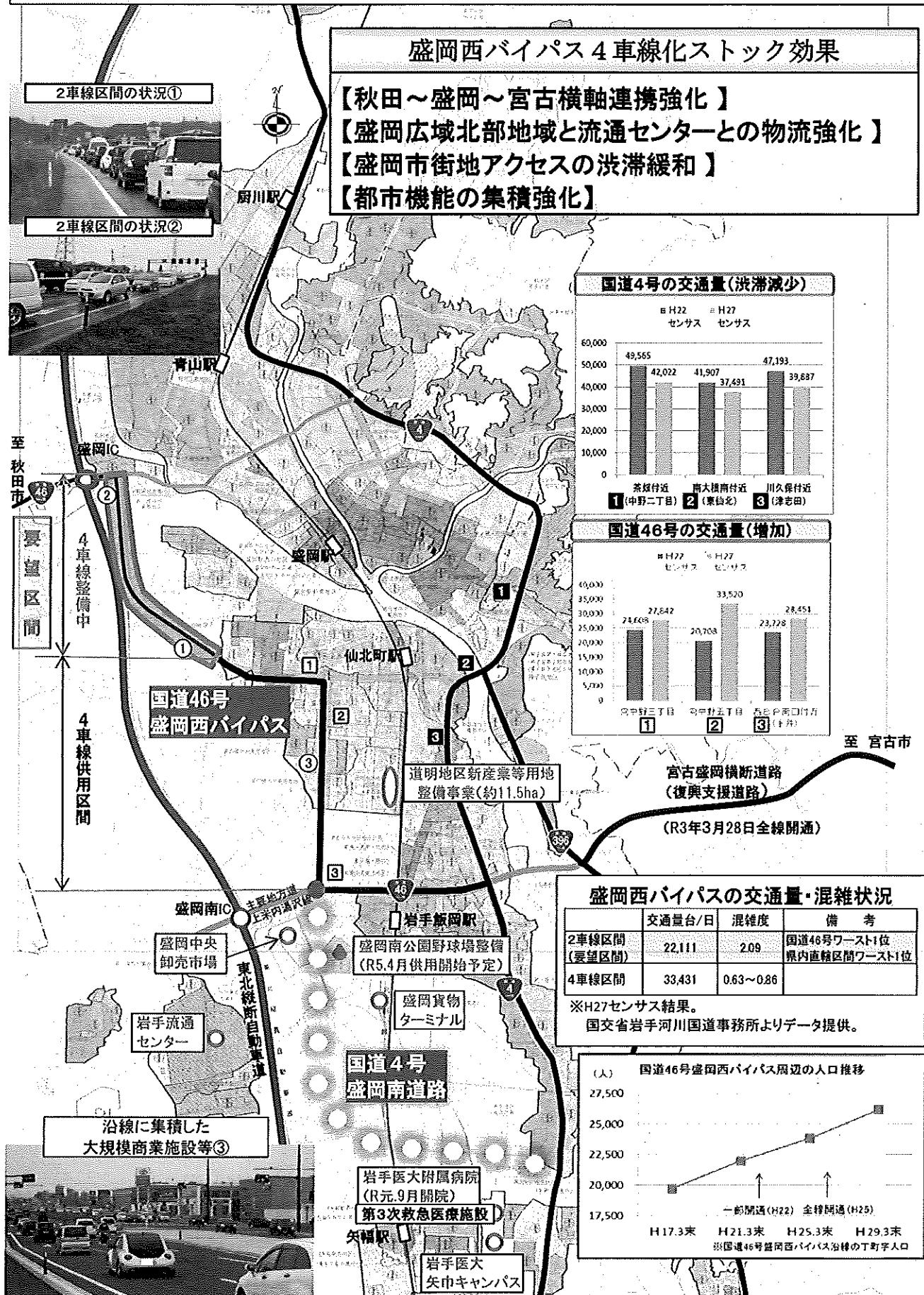
一方、盛岡西バイパス沿線では、盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、復興支援道路である宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が令和元年12月に供用開始され、加えて、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備の進捗や、プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場が令和5年度の供用に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

そのような状況の中、盛岡西バイパスは、4車線化について令和7年度に開通する見通しが令和2年2月に公表され、また、令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けていただいたことは、今後更に事業進捗が図られるものと期待しております。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間について、4車線化の整備を促進していただきますよう強く要望いたします。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進要望図



## 一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっております。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、矢巾町や紫波町とは通勤通学などの流動が高く、盛岡市と一体の生活圏が形成されており交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあります。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しましたが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区においては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備について、令和5年度供用開始に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後においても交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

そのような状況の中、「盛岡南道路」におきましては平成30年度から令和元年度までの計画段階評価を経て、令和2年度より都市計画を進めるための調査を実施していると伺っております、事業化に向けた進捗が図られていることに感謝申し上げます。

つきましては、盛岡市を中心とした都市圏の圈域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能

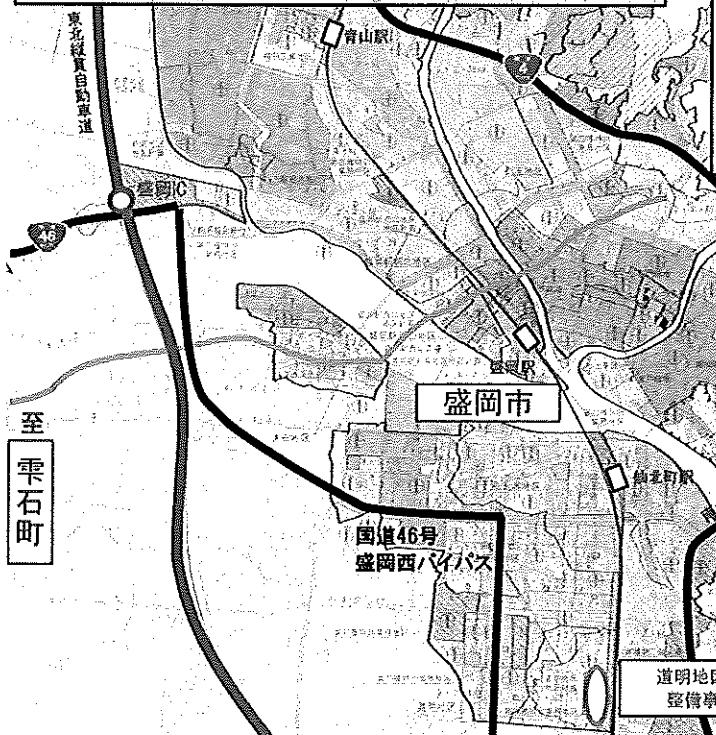
させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の事業化について強く要望いたします。

滝沢市

## 「一般国道4号盛岡南道路」の事業化要望図

### 盛岡南道路のストック効果

- 【国道4号の混雑緩和が図られる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【命を守る医療体系の構築】
- 【持続可能な経済・産業圏域の形成】



盛岡広域圏 通勤通学流动

滝沢市 雪石町 約17,150

約8,690

約11,510

盛岡市

矢巾町

紫波町

約7,590

通勤通学で  
約45,000人/日の流动

資料:H27国勢調査 単位:人/日

【写真①】国道4号の渋滞状況  
・盛岡南IC入口交差点南側



### 国道4号の交通量

H22 H27 センサス センサス

40,000 35,000 30,000 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0

盛岡南 IC 入口付近  
(三本柳)

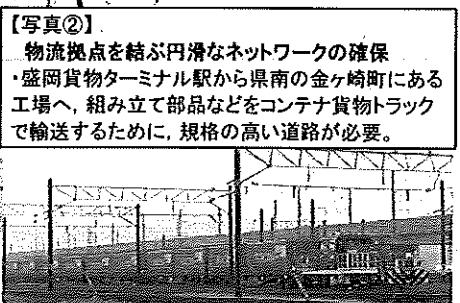
35,844

23,669

宮古盛岡横断道路

(復興支援道路)

(R3年3月28日全線開通)



▼岩手日報 令和元年12月22日(日)

最新機器充実さらに  
岩手医大病院、矢巾移転3カ月

「命のとりで増す安心

向上不可欠  
交通環境の

「命のとりで増す安心

矢巾

矢巾スマートIC

H30.3月24日開通

矢巾駅

H30.3月24日開通

岩手医大附属病院

(R元.9月24日開院)

岩手医大

矢巾キャンパス

至 紫波町

# 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るために、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るために幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めています。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び零石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、平成25年度に制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

## 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	つし だ しらさわ 津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	ながい 永井地区	道路改築
"	や ち がしら 谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	くりやがわ 厨川地区	"
"	いわてこうえんかいうんばし 岩手公園開運橋線	さいえん 菜園地区	交通安全、無電柱化

区分	路線名	要望地区	工種
継続	みなみおおどおりにちょうめみなみおおほし 南大通二丁目南大橋線外	なたやちょう 鉈屋町地区	交通安全, 無電柱化
//	ひがしなかのかど 東中野門線	ひがしなかの 東中野地区	交通安全
//	いわていいおかえきとうざいせんじゅうつうろ 岩手飯岡駅東西線自由通路	ながい 永井地区	//

## 道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図



## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、平成7年に事業用地の一部を先行取得しておりましたが、平成27年4月の渋民バイパスの全線開通を契機に、本市初の「道の駅」整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、国土交通省東北地方整備局及び岩手河川国道事務所の御助言をいただきながら、平成31年3月に基本計画を策定、令和2年度に基本設計を作成し、導入機能・整備規模等について具体化しているところであります。

本市の道の駅は、姫神山や岩手山の優美な眺望をいかしながら、石川啄木記念館などとの連携により、啄木が愛した原風景を感じていただける施設を目指しております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両に対する休憩や道路情報の提供機能に加え、災害時における一時避難場所や物資等の支援拠点などの防災機能を具備することで、道路利用者等の交通安全の確保や利便性の向上、地域の防災拠点の役割を担おうとするものであります。更には、地域振興の拠点として、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、地域の魅力をいかした食の提供などを通じて地域に活気を呼び込むほか、市民が集い、様々な人々が活躍でき、将来を担う人材を育成する場をつくろうとするものであります。

今後、令和3年度に実施設計を作成し、令和4年度には整備工事に着手する予定しております。

つきましては、本市初の「道の駅」の着実な整備推進に当たり、魅力ある道の駅とするための御助言や御支援、事業費の確保等について、国に働きかけていただきたく要望いたします。

# 盛岡市道の駅設置事業概要

イメージパース

岩手山



## コンセプト 『道の駅は、私たちの未来を創る希望のステージ』 ～石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～

・東北自動車道  
滝沢ICから 約8.5km

IGR銀河鉄道

北上川

旧国道4号(県道)

国道4号(渋民バイパス)

北

渋民駅

船田橋

盛岡工業団地

渋民運動公園

渋民中学校

橋銀橋

渋民文化会館

渋民小学校

玉山総合事務所

石川啄木記念館

宝健寺

予定地

交通安全確保

地域振興

人材育成

元気な地域づくり

地域のPR

防災力向上

想定スケジュール

令和3年度(2021)  
・実施設計  
・用地取得  
・名称の決定  
・開業準備業務  
・特産品開発等  
・指定管理手続準備等

令和4年度(2022)  
・整備工事  
・特産品開発等  
・指定管理手続等

令和5年度(2023)  
・整備工事

地域の力や民間のノウハウを活かし、地域の魅力あふれる道の駅を整備します

## 都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共交通機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

また、盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、既存市街地や盛岡駅西口地区と新市街地である盛南地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定供用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても新市街地での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	あたごちょうみつわり 愛宕町三ツ割線	やまざし 山岸四丁目外	道路改築
岩手県	継続	もりおかえきもとみや 盛岡駅本宮線	もりおおはし 杜の大橋	橋梁4車線化

## 都市局所管街路事業に係る要望箇所図

### 道路整備事業の効果

#### 現状

- ◆交通量の多い通学路等において、歩行者が危険にさらされている。  
車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆交通量の多い街路において車線が狭く、ネットワーク機能の面で支障をきたしている。

#### 道路整備による効果

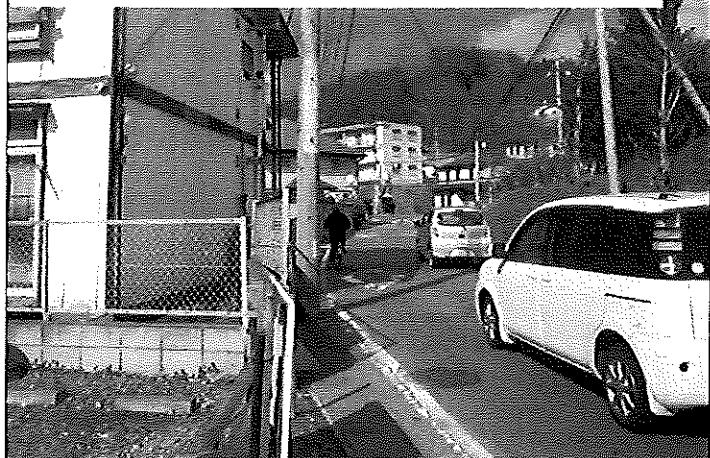
- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の交通環境の改善と歩行者・自転車の回遊性の向上

歩道等の整備による安全性の向上と交通の円滑化

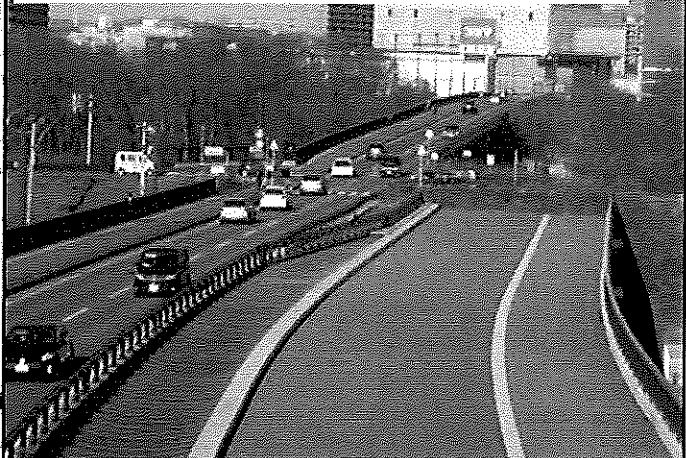


番号	路線名等
①	愛宕町三ツ割線
②	盛岡駅本宮線(杜の大橋)

#### ① 歩道整備による安全性向上と交通円滑化



#### ② 車線数の確保による交通環境の改善



## 市街地再開発事業の推進について

盛岡市では、総合計画において「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、中心市街地における良好な市街地環境の創出や土地利用の適正化を図るために再開発事業を推進し、人がにぎわうまちづくりを進めているところであります。

また、令和元年度に「盛岡市立地適正化計画」を策定し、都市機能の集積を図り、コンパクト・プラス・ネットワークの形成に取り組んでおります。

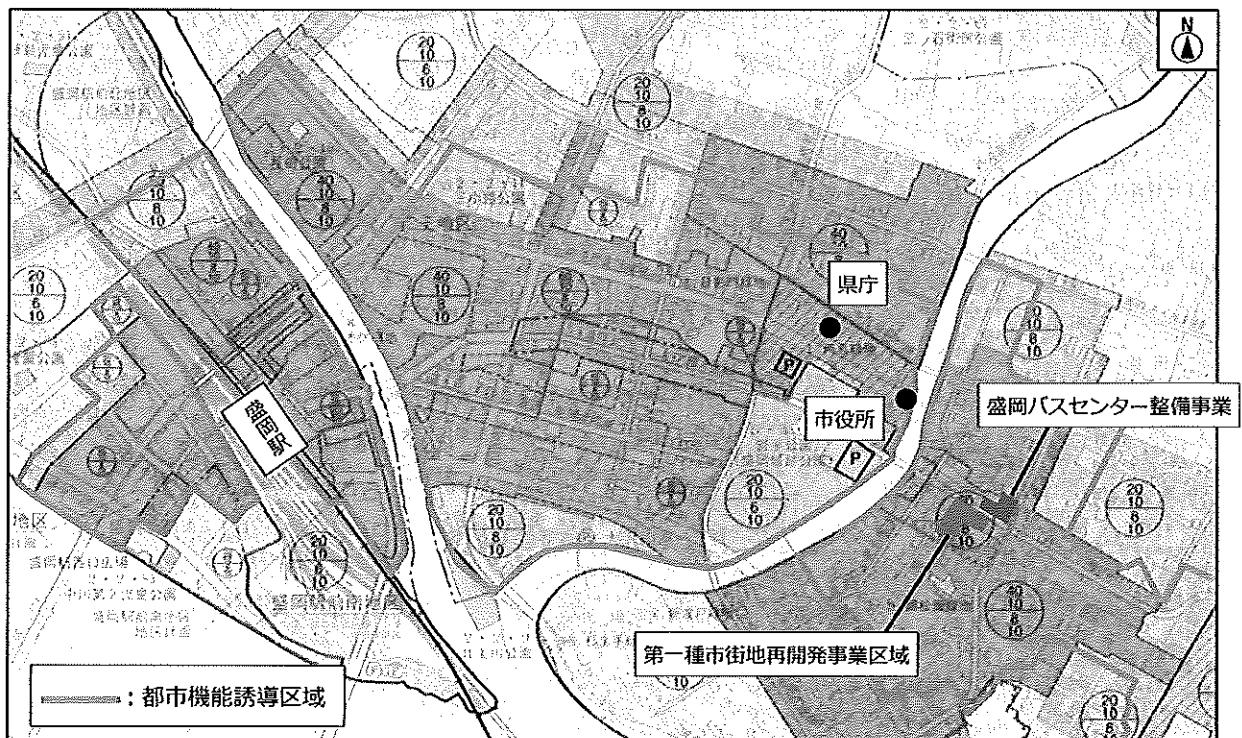
しかしながら、本市の中心市街地に立地する大型商業施設が閉店したことから、地区のにぎわいの低下はもとより中心市街地全体の活性化への影響が懸念される状況となっているところであります。

こうした中、地区のにぎわい創出による中心市街地の活性化、都市の安全性及び防災機能の向上を図るために、<sup>なかのはしどおりいっちょくめ</sup>中ノ橋通一丁目地区市街地再開発準備組合による第一種市街地再開発事業が計画され、国・県からの交付金支援のもと令和3年度から着手されたところであり、予算確保に御配慮いただきましたことに感謝申し上げます。

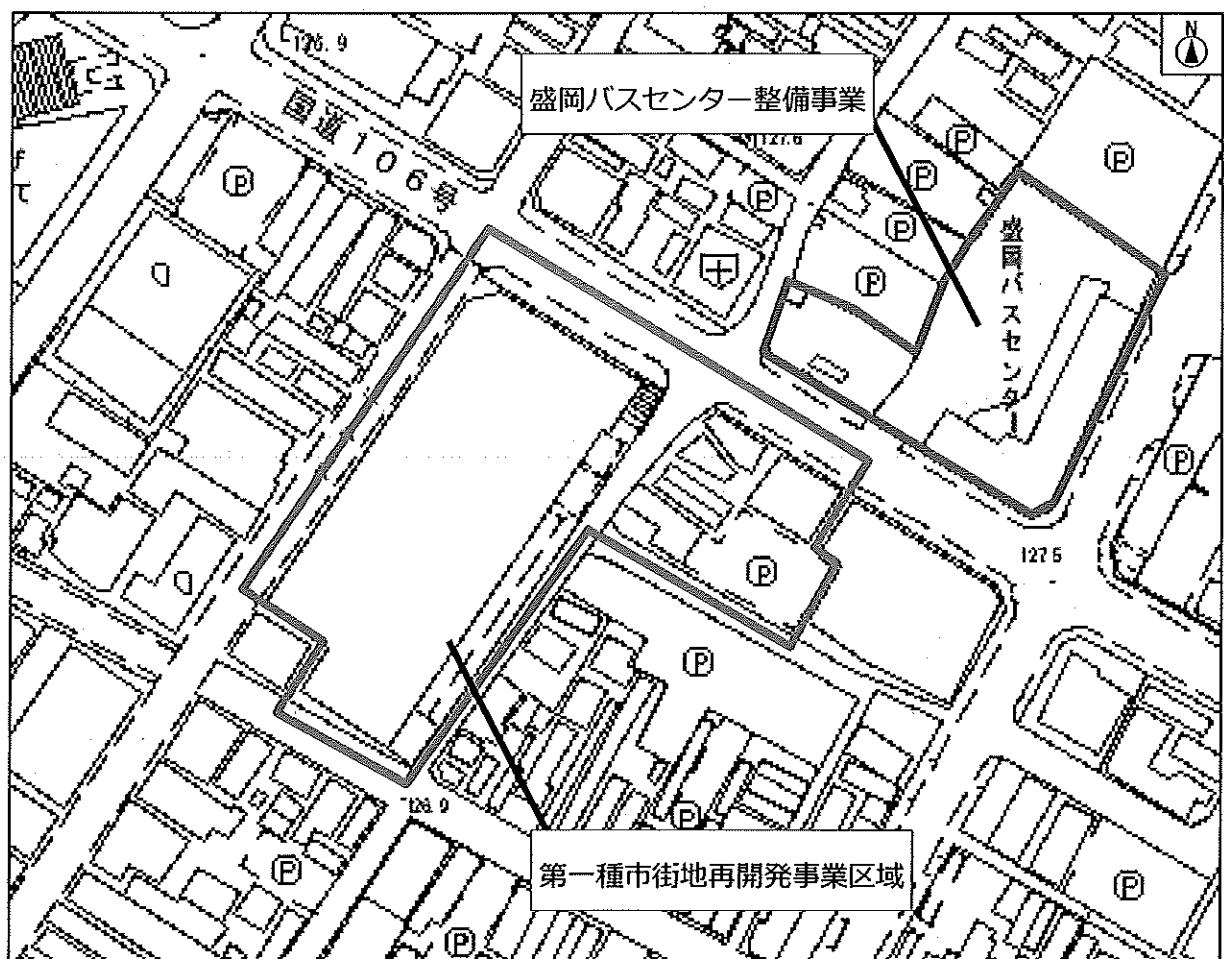
本市としても、当該市街地再開発事業を本市の都市政策上重要な事業と位置付けており、近隣地において公民連携で進めている盛岡バスセンター整備事業との連携を図りつつ、事業を推進しているところです。

つきましては、当該市街地再開発事業を着実に推進するため、国・県におかれても、事業への御理解と御支援をいただきたく、引き続き予算の確保に特段の御配慮を賜りますよう要望いたします。

## 市街地再開発事業の推進について 位置図



## 市街地再開発事業の推進について 区域図



## 盛岡市内の県道の整備促進について

盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。

しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしております。円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特にも、こうした幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を結ぶ安心・安全なネットワークを強化し高次の都市活動を支え、地域づくりや広域経済に大きな波及効果をもたらし、関係住民も大きく期待するところであります。

また、郊外部において県道は盛岡市の主要な幹線道路として大型車の通行が多く、走行速度も速いことから、通学児童等通行者の安全を確保する歩道の整備や円滑で安全な通行を確保する急カーブ箇所等の道路改良が急務となっており、沿道住民から改善を待ち望まれています。なお、徳田橋や岩姫橋については老朽化が目立ち、陥没事故も発生していることから橋梁の架け替えによる老朽化対策も課題となっております。

つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。

区分	路線名	要望地区	工種
継続	都市計画道路 向中野 安倍館線	前九年二丁目から 上堂 一丁目地区	道路改良
〃	都市計画道路盛岡駅 本宮線	杜の大橋	橋梁工事, 4車線化
〃	一般県道 大ヶ生徳田 線	徳田橋	橋梁架替
〃	主要地方道 上米内 湯沢線	浅岸地区, 下米内地区	歩道整備
〃	一般県道 渋民田頭線 及び好摩停車場線	渋民地区, 好摩地区, 大台地区	歩道整備
〃	一般県道 渋民川又線 及び主要地方道 盛岡 環状線	門前寺地区, 白沢地区, 鷹高地区, 川又地区	歩道整備
〃	一般県道 渋民川又線	日戸地区	急カーブの解消
〃	主要地方道 盛岡 環状線	岩姫橋	橋梁架替
新規	都市計画道路 向中野 安倍館線	仙北3丁目から 南仙北3丁目(川久保交 差点)	道路改良

滝沢市

## 盛岡市内の県道整備促進に係る要望箇所図

歩道の整備による通学路の安全対策

4

4車線化による渋滞の解消

1

2

杜の大橋

9

(都) 向中野安倍館線の渋滞発生状況



### 県道整備促進による効果

#### 現状

◆中心市街地に流出入する区間に恒常に交通渋滞が発生し、公共交通にも影響を及ぼしている。

#### 整備による効果

◆中心市街地と周辺部を安心・安全なネットワークの強化から、行政、経済、教育・文化、医療など高次の都市機能を支援  
◆公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境の向上  
◆地域づくりや広域経済への波及効果が期待

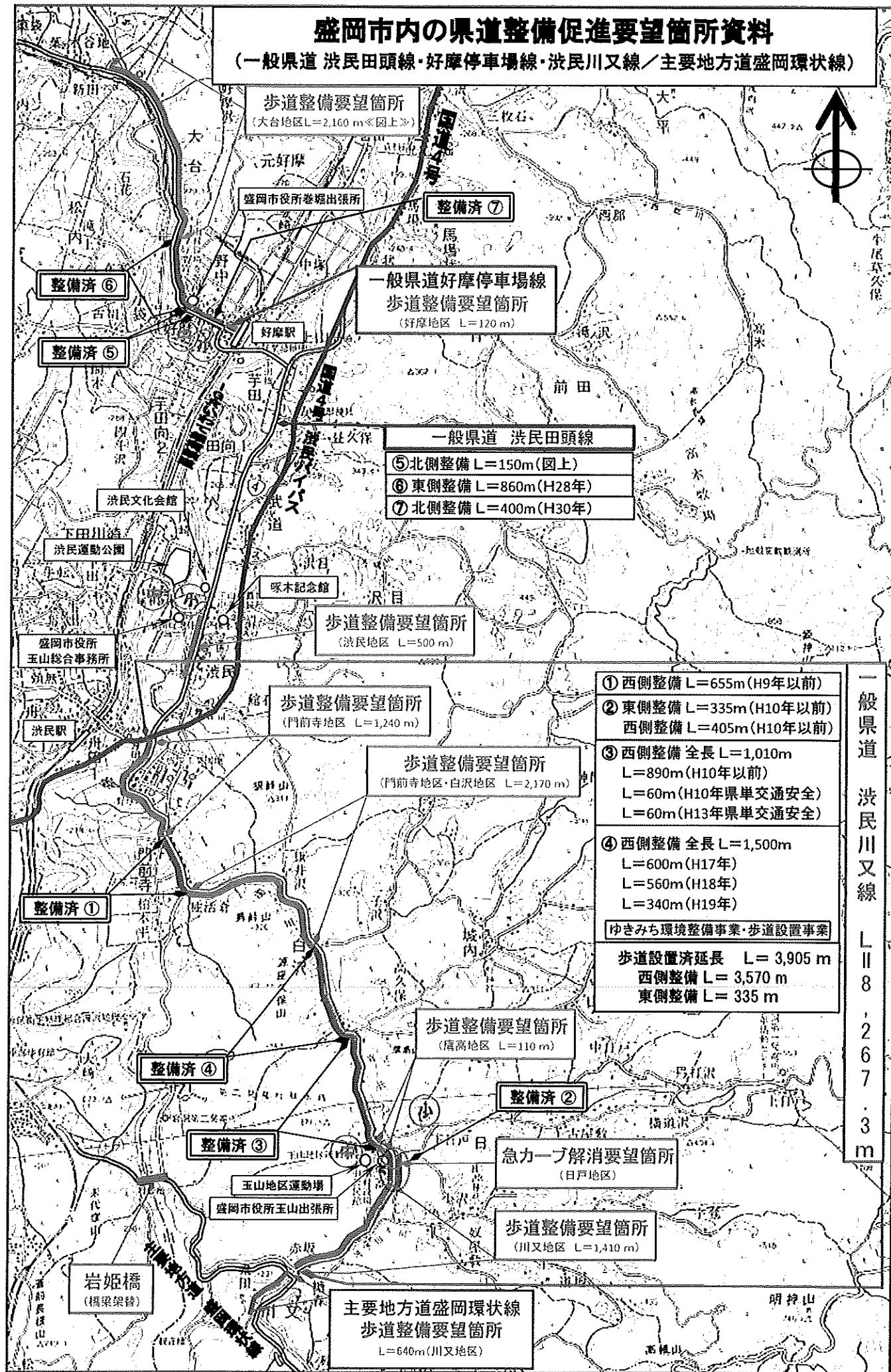
橋梁の架け替えによる老朽化対策

3

矢巾町

# 盛岡市内の県道整備促進要望箇所資料

(一般県道 渋民田頭線・好摩停車場線・渋民川又線／主要地方道盛岡環状線)



## 岩手県管理河川改修事業の促進について

水害から市民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、本市において岩手県で実施されております河川改修事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川 北上川水系木賊川では、平成 14 年 7 月の台風により 115 戸の床上・床下浸水被害、平成 19 年 9 月の大暴雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川 松川においては、平成 25 年 9 月に発生した台風により、86 戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えており、被害にあった地域から、早期の抜本的河川改修が求められております。

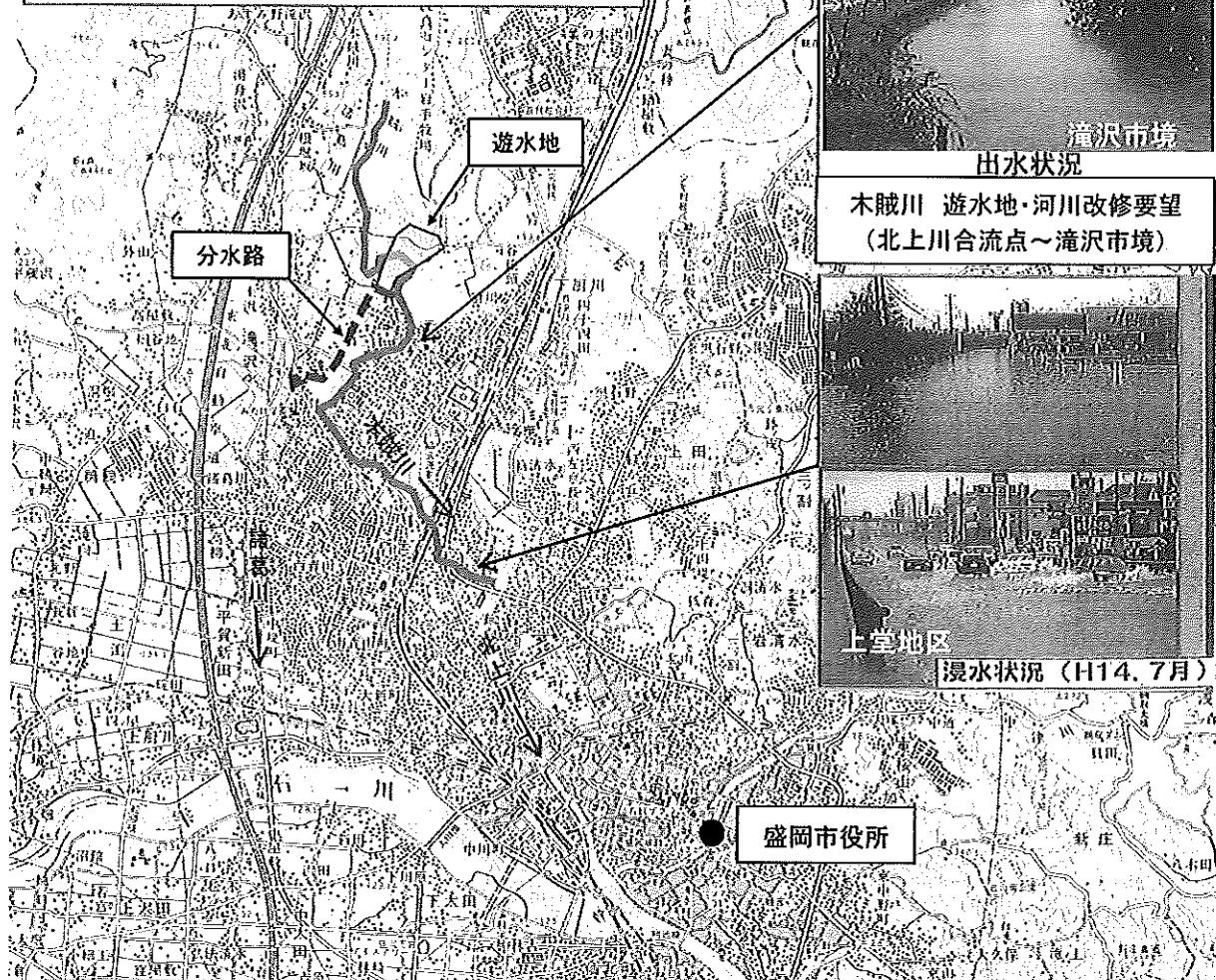
また、一級河川 南川につきましては、市街地の水害防止のため、県と市が分担して整備を進め、国道 4 号から下流の県施行分については、平成 28 年度をもって概成したところではありますが、北上川合流点付近が未改修となっており、平成 19 年 9 月や平成 29 年 8 月などの大雨により合流点付近に浸水、冠水の被害が発生し、地域から早期の河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この 4 河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。

# 岩手県管理河川改修事業

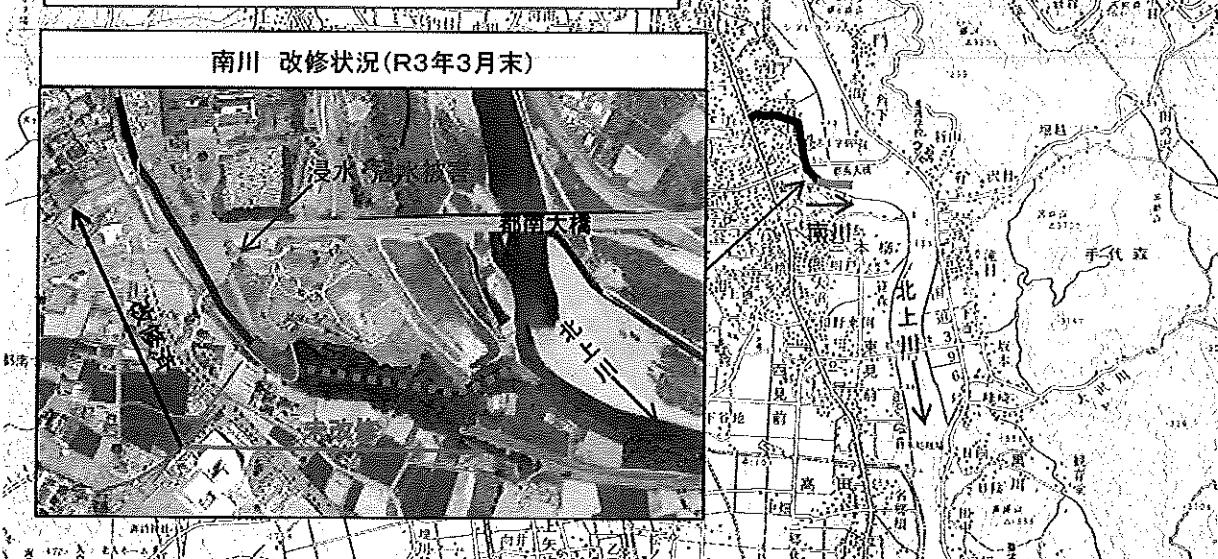
## 【要望効果】(木賊川)

H14年7月の台風被害において発生した、床上浸水16戸、床下浸水99戸の被害解消を図る。



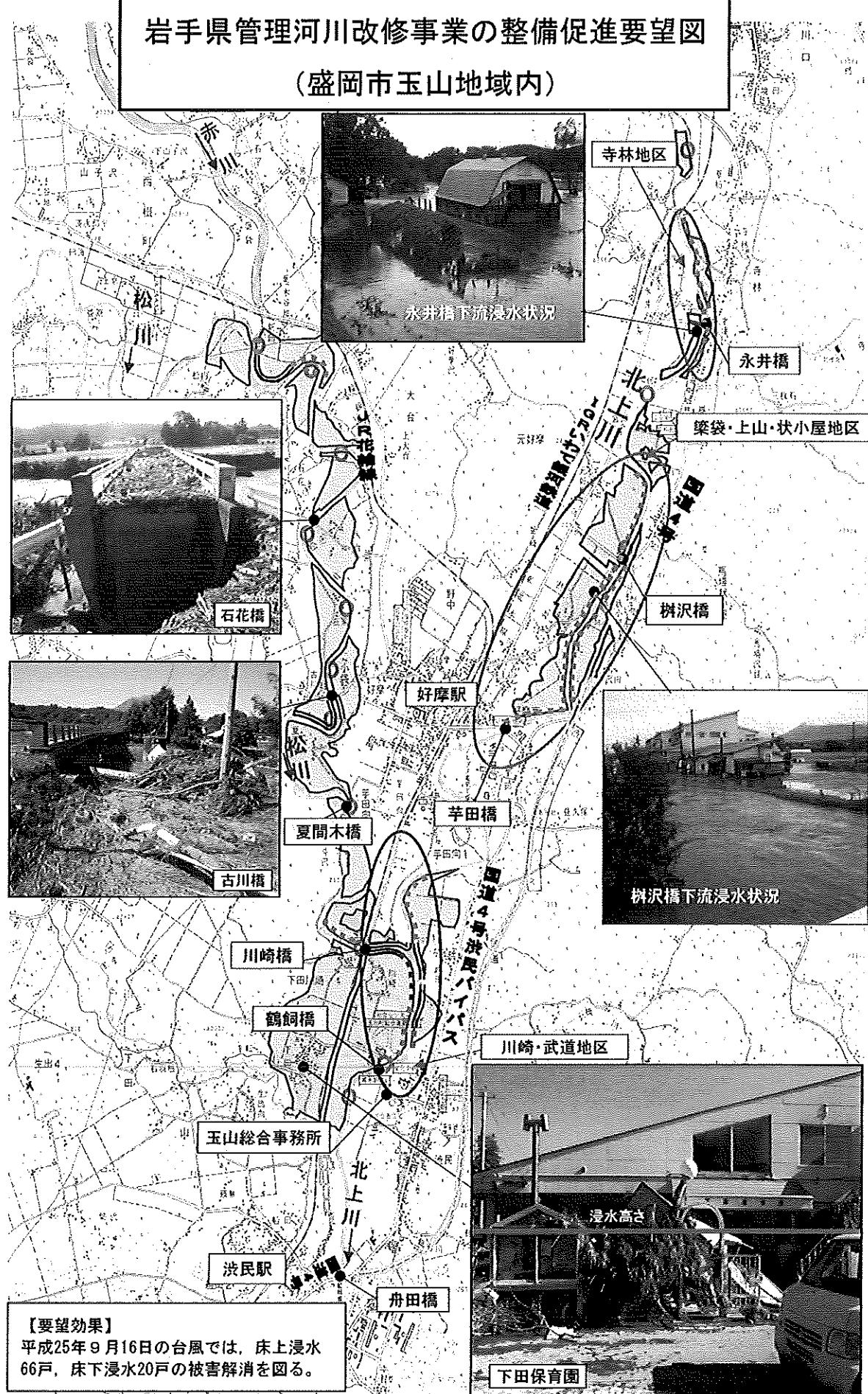
## 【要望効果】(南川)

H19年9月、H29年8月などの大雨時における浸水、冠水被害を防ぎ、住民の安全を確保する。



## 岩手県管理河川改修事業の整備促進要望図

(盛岡市玉山地域内)



### 【要望効果】

平成25年9月16日の台風では、床上浸水66戸、床下浸水20戸の被害解消を図る。

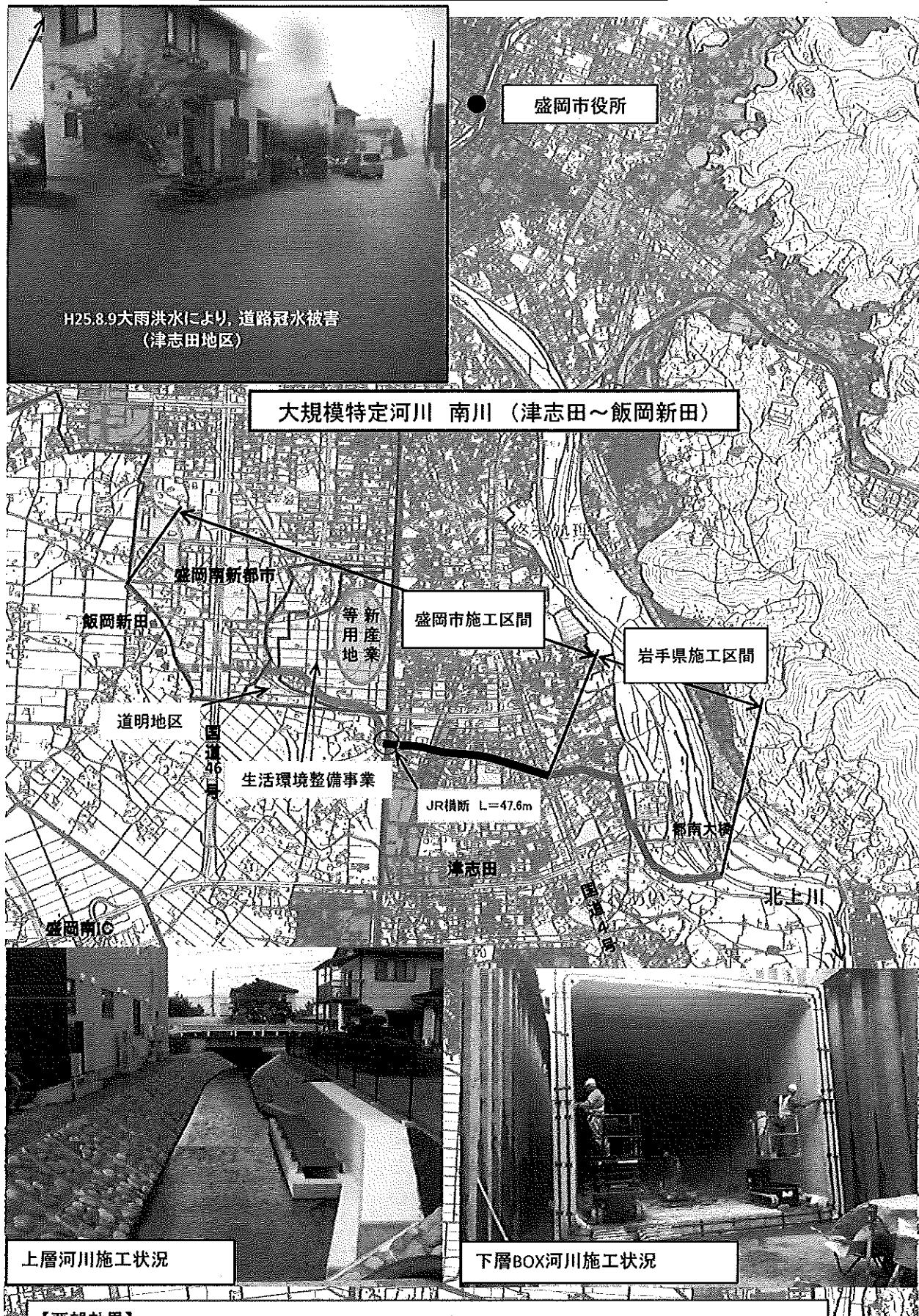
## 大規模特定河川事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系 南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明<sup>どうみょう</sup>地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、新産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、大規模特定河川事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 大規模特定河川事業



## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

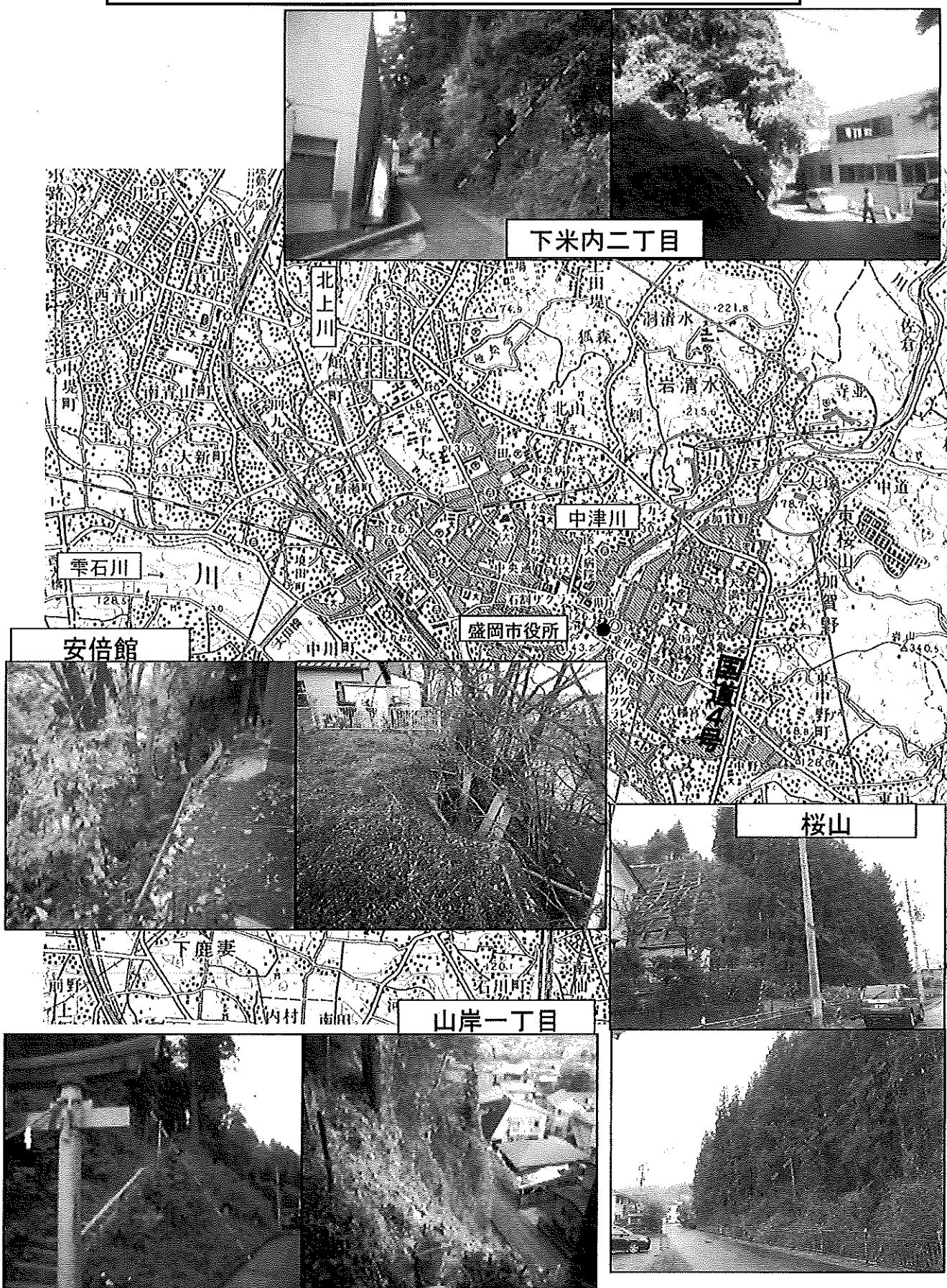
がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、西日本を中心とした平成30年7月豪雨や同年9月に発生した北海道胆振東部地震など全国各地で土砂災害が発生しており、本市においても大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されており、住民に大きな不安を与えております。

特にも、「安倍館地区」では、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっており、地域住民の安全確保が必要となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」の新規事業化、及び「山岸一丁目地区(6)」、「下米内二丁目地区」、「桜山(3)地区」の事業促進について要望いたします。

# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図



## 【要望効果】

土砂災害から市民の生命を守り、安全安心な生活の確保に寄与する。

## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市では、おおた 太田地区、どうみょう 道明地区及びとなんちゅうおうだいさん 都南中央第三地区において土地区画整理事業を実施するとともに、事業区域縮小により土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域では、道路整備を中心に事業を実施することで、地区の恵まれた環境を生かしつつ機能的で魅力があり、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めております。

本市は、令和元年度に立地適正化計画を策定し、住民の生活利便性の維持や向上、行政サービスの効率化による行政コストの削減等、事業効果の早期発現を目指しており、都南中央第三地区では令和2年度から都市構造再編集中支援事業の導入により、令和3年度におきましても事業進捗が図られているところであります。

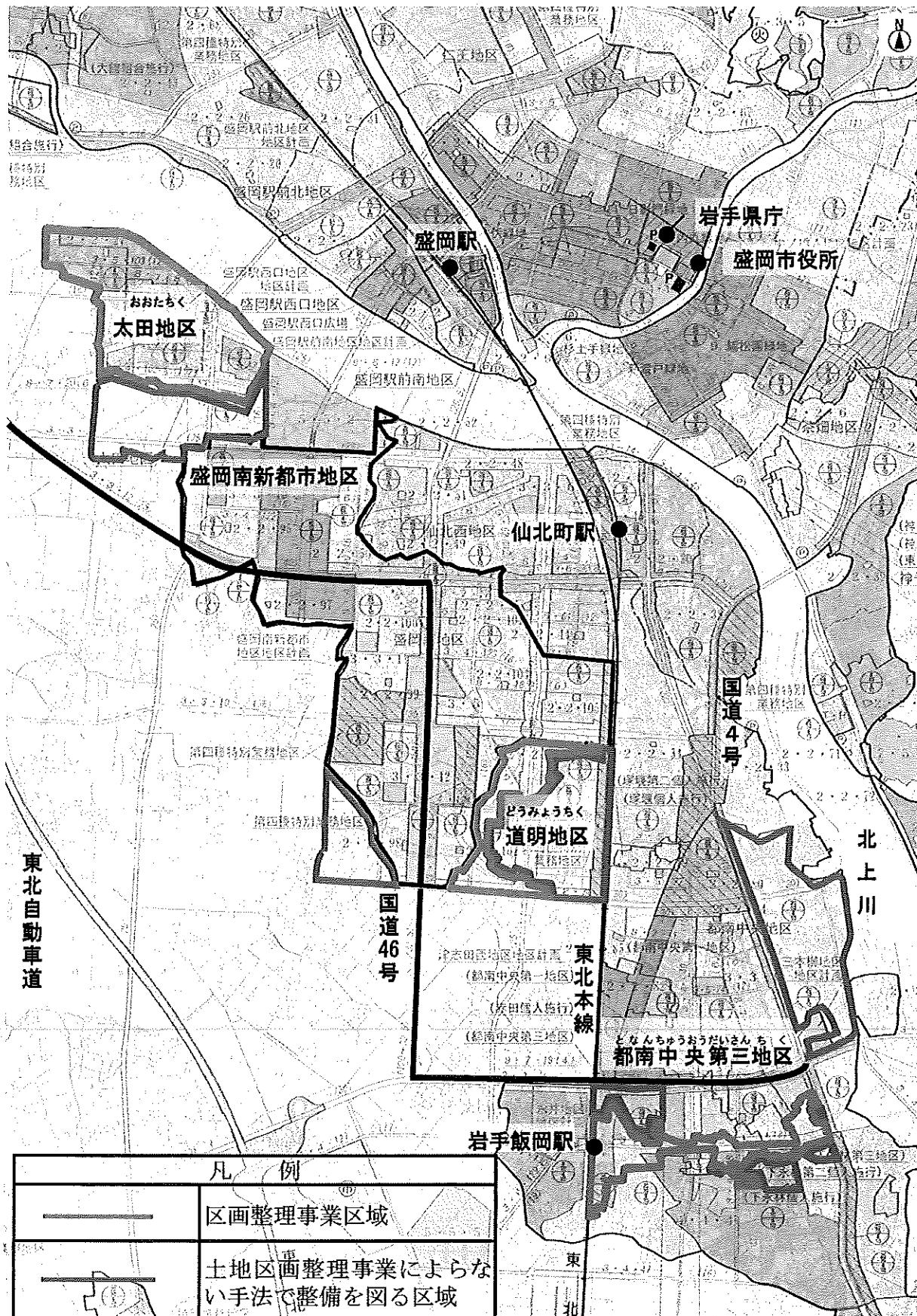
しかしながら、地元の早期事業完了要望に応え、また、土地区画整理事業と合わせた地区全体の早期効果発現を行うためにも、財源を確保して一層の事業推進を図る必要がありますことから、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、引き続き国に働きかけていただきたく要望いたします。

(R3年度末)

地区名	<small>おおた</small> 太田	<small>どうみょう</small> 道明	<small>となんちゅうおうだいさん</small> 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～R6(清算R11)	H15～R5(清算R10)	H12～R6(清算R11)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,288	区画整理 6,335 区画整理外 2,894 計 9,229	区画整理 8,910 区画整理外 595 計 9,505
今後の見通し	～R6まで (4年)	～R5まで (3年)	～R4まで (2年)
残事業費 (百万円)	区画整理 2,190	区画整理 579 区画整理外 1,368 計 1,947	区画整理 387 区画整理外 28 計 415

※ 上表の「区画整理外」は「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」。  
都南中央第三地区都市構造再編集中事業の基幹事業は土地区画整理事業、道路及び公園整備事業。(都南中央第三地区はR4の宅地概成を目標としている。)

## 盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



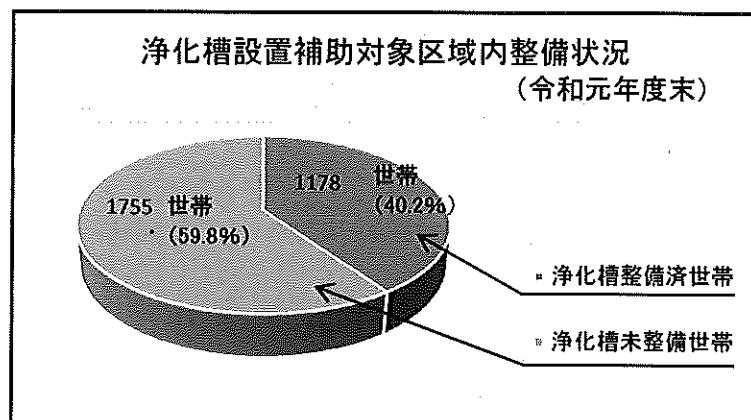
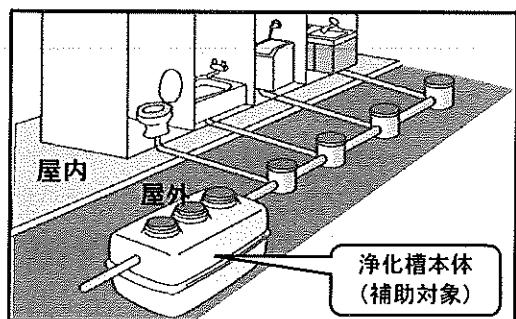
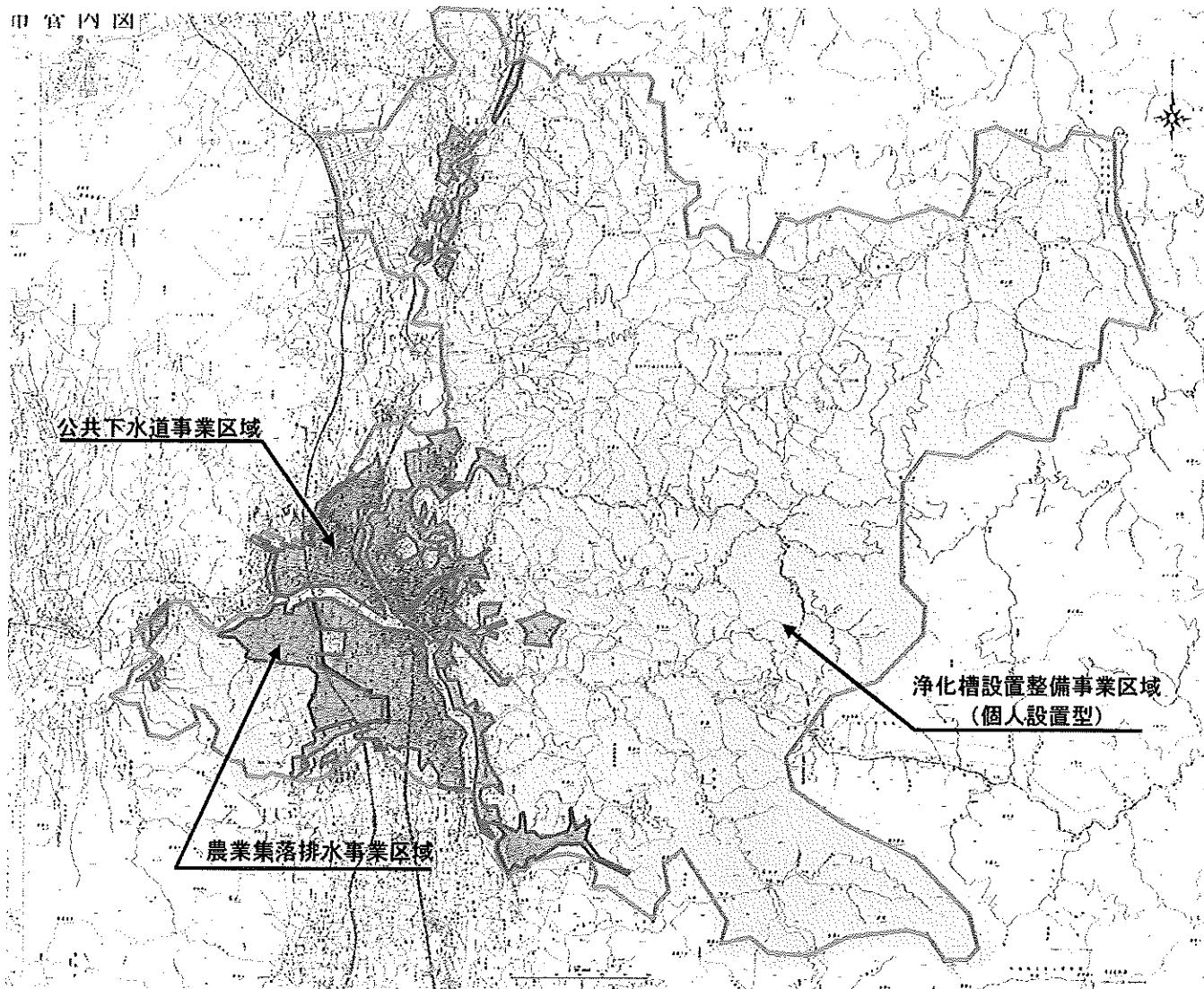
## **循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について**

本市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、令和7年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。しかし、公共下水道整備には現計画において時間を有する見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和3年度から下水道計画区域の見直しに着手することとしております。同時に、浄化槽による整備区域の見直しを行うこととしており、見直し後の区域における浄化槽の整備促進を重点的に図る必要があります。また、現状の浄化槽による整備区域については、人口集積が低い地域でありますが、市域面積の約9割を占めており、令和元年度末時点で当該整備区域内人口のうち約40%の整備率に留まっておりましたことから、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額（年度間調整を含まない）の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域



※ 世帯当たり人員は3.06人/世帯(H27国勢調査ベース)として算出。

令和 3 年度 国・県予算要望成果  
(令和 3 年 5 月 19 日現在)



## 令和3年度国予算要望成果

注：件名欄に（国、県）とあるのは、国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件 名	要望成果			
		要望計画名	要望額	配分額	配分額／要望額
1	社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について (国、県)	第2期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり	78,000	56,944	73.0%
		第2期 賑わいのある市街地の基盤づくり	768,805	531,484	69.1%
		岩手県における快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現	242,145	242,145	100.0%
		第2期 岩手県地域における住宅セーフティネットの構築と住環境の整備（地域住宅計画）	312,882	190,736	61.0%
		岩手県地域住宅等整備計画（地域住宅計画）（重点計画）	5,487	5,311	96.8%
		盛岡西部における交通拠点の形成	75,900	75,900	100.0%
		盛岡市における中心市街地の魅力あるまちづくり	91,332	91,332	100.0%
		第2期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり（防災・安全）	346,844	155,471	44.8%
		第2期 いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）	2,250	1,818	80.8%
		第2期 いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）（総合流域防災事業）	17,000	17,000	100.0%
		いわての通学路等の安全・安心の確保（防災・安全）（重点）	434,682	303,908	69.9%
		良好な生活環境と健全な下水道の創出（第2次）（防災・安全）	30,825	16,337	53.0%
		岩手県における浸水不安のない街の実現（防災・安全）（重点計画）	156,470	156,470	100.0%
		第2期 盛岡市における安心で安全な都市公園づくり（防災・安全）	24,000	24,000	100.0%
		第3期 岩手県安全で安心できるすまいづくり・まちづくり（防災・安全）	518,391	495,773	95.6%
		自転車活用推進計画に基づく自転車の利用拡大のための環境創出（重点配分対象事業）	7,150	7,150	100.0%
		合 計	3,112,163	2,371,779	76.2%
		個別補助事業（前年度統一要望なし）	723,173	698,565	96.6%

2	一般国道 46 号 「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間の 4 車線化の整備促進について (国, 県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：改良工事</li> <li>・令和 3 年度事業予定概要 事業費 約 1.8 億円</li> <li>事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：改良工, 橋梁下部工</li> <li>・用地進捗率 100% (R3 年 3 月)</li> <li>・事業進捗率 約 74% (R3 年 3 月)</li> </ul>																																																									
3	一般国道 4 号 「盛岡南道路」の事業化について (国, 県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度 概略ルート・構造の決定</li> <li>・令和 3 年度 都市計画決定</li> </ul>																																																									
4	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について (国, 県)	<p style="text-align: right;">(単位 : 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">要 望 内 容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>路 線 名</th> <th>工 種</th> <th>要 望 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td>津志田白沢線</td> <td>道路改築</td> <td>105,000</td> <td>20,326</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>谷地頭線</td> <td>"</td> <td>30,000</td> <td>23,142</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>岩手公園開運橋線 ほか</td> <td>交通安全, 無電柱化</td> <td>50,000</td> <td>48,000</td> <td>R2 3 次 補正</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>101,000</td> <td>85,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>東中野門線</td> <td>交通安全</td> <td>178,000</td> <td>133,540</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>岩手飯岡駅東西線 自由通路</td> <td>"</td> <td>450,000</td> <td>450,000</td> <td>R2 3 次 補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>115,000</td> <td>115,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>1,029,000</td> <td>875,508</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	要 望 内 容			要望成果	備 考	路 線 名	工 種	要 望 額	継続	津志田白沢線	道路改築	105,000	20,326		"	谷地頭線	"	30,000	23,142		"	岩手公園開運橋線 ほか	交通安全, 無電柱化	50,000	48,000	R2 3 次 補正	"			101,000	85,500		"	東中野門線	交通安全	178,000	133,540		"	岩手飯岡駅東西線 自由通路	"	450,000	450,000	R2 3 次 補正				115,000	115,000			計		1,029,000	875,508	
区分	要 望 内 容			要望成果	備 考																																																						
	路 線 名	工 種	要 望 額																																																								
継続	津志田白沢線	道路改築	105,000	20,326																																																							
"	谷地頭線	"	30,000	23,142																																																							
"	岩手公園開運橋線 ほか	交通安全, 無電柱化	50,000	48,000	R2 3 次 補正																																																						
"			101,000	85,500																																																							
"	東中野門線	交通安全	178,000	133,540																																																							
"	岩手飯岡駅東西線 自由通路	"	450,000	450,000	R2 3 次 補正																																																						
			115,000	115,000																																																							
	計		1,029,000	875,508																																																							
5	一般国道 4 号渋民バイパスへの道の駅整備について (国, 県)	基本設計の作成プロセスにおいて、整備に係る諸般の検討に対する技術的助言等の協力を得るなど、道の駅設置事業の推進を図った。																																																									

6	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について (国、県)	(単位：千円)									
事業主体	区分	要望内容			要望成果	備考					
		路線名	工種	要望額							
		盛岡市	継続	愛宕町三ツ割線	道路 改築	3,000	2,828				
						80,260	43,342				
		岩手県	〃	盛岡駅本宮線	橋梁 整備	612,000	612,000				
						317,000	253,600				
計				1,012,260	911,770						
7	市街地再開発事業の推進について (国、県)	(単位：千円)									
要望計画名				要望額	配分額 (※)	配分額 ／要望 額					
盛岡市における中心市街地の魅力あるまちづくり				91,332	91,332	100%					
※令和3年3月30日内示 国費											
8	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	<table border="1"> <thead> <tr> <th>要望内容</th><th>成果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川改修整備の促進、早期着工 堤防ハード対策の促進 中州などの河川の適切な管理の推進</td><td>           ○見前地区堤防強化 L=1,570m            ・令和3年度（R2補正）完成（予定）            ○盛岡地区かわまちづくり            ・令和2年度 事業完了            ・令和3年度～ モニタリング            ○北上川上流治水対策検討（夕顔瀬地区の治水対策計画を含む）を実施            ○河川の「適切な管理」として樹木伐採を実施            ・令和2年度 北上川等 樹木伐採 約36千m<sup>2</sup> </td></tr> </tbody> </table>						要望内容	成果	河川改修整備の促進、早期着工 堤防ハード対策の促進 中州などの河川の適切な管理の推進	○見前地区堤防強化 L=1,570m ・令和3年度（R2補正）完成（予定） ○盛岡地区かわまちづくり ・令和2年度 事業完了 ・令和3年度～ モニタリング ○北上川上流治水対策検討（夕顔瀬地区の治水対策計画を含む）を実施 ○河川の「適切な管理」として樹木伐採を実施 ・令和2年度 北上川等 樹木伐採 約36千m <sup>2</sup>
要望内容	成果										
河川改修整備の促進、早期着工 堤防ハード対策の促進 中州などの河川の適切な管理の推進	○見前地区堤防強化 L=1,570m ・令和3年度（R2補正）完成（予定） ○盛岡地区かわまちづくり ・令和2年度 事業完了 ・令和3年度～ モニタリング ○北上川上流治水対策検討（夕顔瀬地区の治水対策計画を含む）を実施 ○河川の「適切な管理」として樹木伐採を実施 ・令和2年度 北上川等 樹木伐採 約36千m <sup>2</sup>										

9	北上川上流ダム再生事業の促進について	<p>○北上川上流ダム再生事業（R1新規事業化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 調査・設計 約413,000千円</li> <li>・令和2年度（補正）調査・設計 137,000千円</li> <li>・令和3年度 調査・設計 約416,000千円</li> </ul> <p>（成果）</p> <p>四十四田ダム嵩上げ概略検討（本体構造、放流設備、施工計画等）、環境影響基礎資料とりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 調査・設計 約413,000千円</li> <li>・令和2年度（補正）調査・設計 137,000千円</li> <li>・令和3年度 調査・設計 約416,000千円</li> </ul> <p>（実施予定）</p> <p>四十四田ダム嵩上げ概略検討 地質調査、貯水池運用、治水計画等検討（四十四田と御所ダムの操作規則変更による連携操作等検討）、環境影響調査の実施</p>																										
10	大規模特定河川事業の推進について (国、県)	<table border="0"> <tr> <td>令和2年度事業費</td> <td>462,000 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>14,100 千円</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>3,900 千円</td> </tr> <tr> <td>借地料</td> <td>2,100 千円</td> </tr> <tr> <td>工事負担金（JR横断）</td> <td>429,600 千円</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>12,000 千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>300 千円</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>令和3年度事業費</td> <td>519,000 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>27,000 千円</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>63,300 千円</td> </tr> <tr> <td>借地料</td> <td>2,100 千円</td> </tr> <tr> <td>工事負担金（JR横断）</td> <td>411,600 千円</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>15,000 千円</td> </tr> </table>	令和2年度事業費	462,000 千円	委託料	14,100 千円	補償費	3,900 千円	借地料	2,100 千円	工事負担金（JR横断）	429,600 千円	用地費	12,000 千円	役務費	300 千円	令和3年度事業費	519,000 千円	委託料	27,000 千円	補償費	63,300 千円	借地料	2,100 千円	工事負担金（JR横断）	411,600 千円	用地費	15,000 千円
令和2年度事業費	462,000 千円																											
委託料	14,100 千円																											
補償費	3,900 千円																											
借地料	2,100 千円																											
工事負担金（JR横断）	429,600 千円																											
用地費	12,000 千円																											
役務費	300 千円																											
令和3年度事業費	519,000 千円																											
委託料	27,000 千円																											
補償費	63,300 千円																											
借地料	2,100 千円																											
工事負担金（JR横断）	411,600 千円																											
用地費	15,000 千円																											
11	盛岡市土地地区画整理事業の推進について (国、県)	<p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要望計画名</th> <th>要望額</th> <th>配分額（※）</th> <th>配分額／要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賑わいのある市街地の基盤づくり</td> <td>768,805</td> <td>531,484</td> <td>69.1%</td> </tr> <tr> <td>都市構造再編集中支援事業（個別補助事業） 都南中央第三地区 ※岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり（令和元年度まで）</td> <td>149,900</td> <td>149,900</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>918,705</td> <td>681,384</td> <td>74.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年3月30日内示 国費</p>	要望計画名	要望額	配分額（※）	配分額／要望額	賑わいのある市街地の基盤づくり	768,805	531,484	69.1%	都市構造再編集中支援事業（個別補助事業） 都南中央第三地区 ※岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり（令和元年度まで）	149,900	149,900	100%	合 計	918,705	681,384	74.2%										
要望計画名	要望額	配分額（※）	配分額／要望額																									
賑わいのある市街地の基盤づくり	768,805	531,484	69.1%																									
都市構造再編集中支援事業（個別補助事業） 都南中央第三地区 ※岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり（令和元年度まで）	149,900	149,900	100%																									
合 計	918,705	681,384	74.2%																									

12	盛岡市公共下水道事業の推進について	公共下水道事業費	
		要望内容	成果(内示額)
		合計 858,880千円 未普及解消事業費 484,290千円 水質保全事業費 浸水対策事業費 374,590千円 改築更新事業費	合計 829,904千円 未普及解消事業費 484,290千円 水質保全事業費 浸水対策事業費 345,614千円 改築更新事業費
13	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について(国、県)	要望内容	成果(内示額)
		浄化槽設置整備事業費補助金(個人設置型) ・事業費 17,268千円 うち交付金 5,756千円 うち県費補助金 5,756千円 ・整備基數 43基(5~10人槽)	浄化槽設置整備事業費補助金(個人設置型) ・事業費 14,140千円 うち交付金 5,756千円 うち県費補助金 4,713千円 ・整備基數 36基(5~10人槽)
14	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について	史跡盛岡城跡保存整備事業 (単位:千円)	
		要望内容	要望成果
		項目	要望額
		三ノ丸北西部石垣修復等工事	70,535 50,885
		三ノ丸北西部石垣修復工事施工監理	3,487 3,487
		石垣変位調査業務委託	1,309 1,309
		遺構等測量図化業務委託	1,837 0
		発掘調査表土除去業務委託	728 0
		整備委員会・発掘調査等	10,104 5,919
			88,000 61,600
		計	うち補助額 44,000千円 補助率 50% うち補助額 30,800千円 補助率 50%

## 令和3年度県予算要望成果

( 県のみに要望した項目 5件 )

No.	件名	要望成果				
1	スポーツ推進施策の充実強化について	スポーツ健康科学センターや多目的屋内練習施設については、岩手県スポーツ推進計画において、スポーツ医・科学を活用したトップアスリートの育成や健康づくり支援、IoT・AI等の最先端技術の活用等によるスポーツ振興を図るため、そのあり方について改めて検討を進めることとしており、県では、スポーツ医・科学の知見を生かした健康づくりや競技力向上等を図る「いわてスポーツ推進プラットフォーム」の設立に向け、令和元年度、産学官のメンバーによる研究会を設けたところであり、まずはソフト面を中心に具体的な進め方を検討している。				
2	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	水道施設耐震化等推進事業費補助金（生活基盤施設耐震化等交付金） 【要望額】合計 82,437 千円 老朽管更新事業 20,000 千円 重要給水施設配水管 31,772 千円 水道管路緊急改善事業 13,115 千円 配水池 17,550 千円  【内示額】82,437 千円				
3	盛岡市内の県道の整備促進について	(単位：千円)				
		区分	要望内容			
		路線名	地区名	工種	要望成果	
		継続 都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	道路改良	—	
		〃 都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁工事, 4車線化	327,000	
		〃 一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	627,000	
		新規 主要地方道上米内湯沢線	浅岸地区, 下米内地区	歩道整備	調査実施 (浅岸地区)	
		継続 一般県道渋民田頭線 及び好摩停車場線	渋民, 大台, 好摩地区	歩道整備	29,000 (好摩地区)	
		〃 一般県道渋民川又線 及び主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	歩道整備	—	
		〃 一般県道渋民川又線	日戸	急カーブの 解消	調査実施	
		〃 主要地方道盛岡環状線	岩姫橋	橋梁架替	—	
計					983,000	
※ 県の当初予算額であり、国の交付金内示額とは異なる。						

No.	件名	要望成果		
	4 岩手県管理河川改修事業の促進について	要望内容	成果	
		1 「木賊川」、「北上川」、「松川」、「南川」の河川改修事業の促進	1 「木賊川河川改修事業」 令和2年度事業費 84,805千円 遊水地工事 一式 令和3年度事業費 175,195千円 (R2繰越含) 遊水地工事 一式	
2 「北上川・松川河川改修事業」				
・北上川			令和2年度事業費 114,813千円 (R1繰越含) 河道拡幅等工事 一式 114,740千円 用地補償 一式 83千円 令和3年度事業費 125,916千円 (R2繰越含) 河道拡幅等工事 一式 98,218千円 樋門設計 一式 27,698千円	
・松川			令和2年度事業費 152,303千円 (R1繰越含) 河道拡幅等工事 一式 122,487千円 用地補償等 一式 22,325千円 用地測量等 一式 7,491千円 令和3年度事業費 478,340千円 (R2繰越含) 河道拡幅等工事 一式 463,340千円 用地補償等 一式 15,000千円	
	5 急傾斜地崩壊対策事業の促進について	要望内容	成果	
		1 下米内二丁目地区の事業促進 2 安倍館地区の新規事業化 3 山岸一丁目地区(6) の事業促進 4 桜山(3) 地区の新規事業化	1 下米内二丁目地区 H27～事業休止中 2 安倍館地区 H24～用地交渉継続中 3 山岸一丁目地区 R2 急傾斜地崩壊対策工事 230,625千円 R3 急傾斜地崩壊対策工事 97,500千円 (II) R2 協定締結 R3 詳細設計 20,000千円 4 桜山地区 R2 詳細設計 30,000千円 R3 用地測量等 20,000千円	